

●モノグラフ小学生ナウ



子どもとこづかい



Vol.2-1

1982.教育図書出版(株)福武書店 教育研究所・調査室/加藤智博・實川雅子
千葉大学附属小学校教諭 上杉賢士・青柳市立第二小学校教諭 金子純江
東京学芸大学助教授・深谷和子

目次

特集	子どもとこづかい	2
	☆労働との関係で	3
	☆むずかしい金銭のしつけ	4
	☆豊かな社会の中で	5
	提言と要約	6
1. 金額・もらい方・満足度		8
	●いくらもらっているか	8
	●ほとんどが月決め	10
	●満足しているだろうか	11
2. こづかいの使いみち		14
	●よく買うもの	14
	●高価なものを買う時	16
3. もうひとつの使いみち「貯金」		17
	●どのくらい貯金しているか	17
	●貯金とその後	18
4. 親はこんなふうにしつけている		21
	●抑制型と積極型	21
5. こんなふうにしつけよう		25
	●積極型しつけと消費行動	25
	●いくつかの提言	28
資料1・調査票見本		30
資料2・学年・性別集計表		36

サンプル数 (人)

学年 \ 性	男子	女子	計
4年	297	269	566
5年	342	286	628
6年	324	306	630
計	963	861	1,824

調査概要

対象●東京都・千葉県の小学4・5・6年生 計1,824名
時期●昭和56年6月
方法●学校通しによる質問紙調査

特集 子どもとこづかい



労働との関係で

ジミー・カーター前米国大統領の愛娘エミリーちゃんが、ホワイトハウスにつめかける報道関係者を相手に、アイスクリームを売ってこづかいをかせいだ、というエピソードを耳にしたのは、何年前のことだっただろう。

筆者らはこの数年、アメリカの子どもたちの生活調査に何回か海外へ渡った。その都度思うのは、アメリカの子どもたちが、実によく働く、ということだ。住宅の事情も違うと言えはそれまでだろうが、広々と家のまわりにめぐらされた芝生の水まき、芝刈り、ペンキ塗り、車洗いなど、目につくところで子どもたちはよく働いている。家の中に入っても、おそらく子どもたちは、こまめに家事労働に加わっているに違いない。

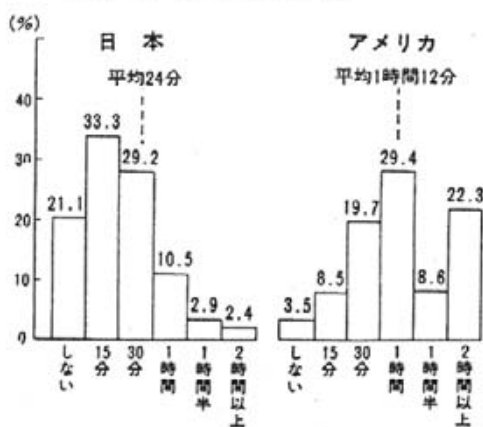
それを示すデータとして、1979年に総理府が行った、子どもの生活についての比較調査のデータがある（10歳～15歳、世界6か国）。その中からアメリカと日本の場合を



ぬき出したのが図Aである。日本では手伝いをしない子どもが21%、1日15分が33%、30分が29%で、あわせると84%の子どもが、ほとんど手伝いらしい手伝いをしていない。またその内容も買物、食卓の準備と後片づけ程度の軽作業が多い。しかしアメリカでは、全く手伝わない子どもはわずか4%、30分以下をあわせても32%でしかなく、しかも内容は雑役や家業の手伝いにまで及ぶことが報告されている。

また別の設問として、ほかの人から賃金をもらって仕事をしている（アルバイトしている）子どもの割合を調べた結果がある。日本の子どもは92%がアルバイトをしていないと答えているのに対して、アメリカではその割合が34%でしかない。むしろ日本では、原則として高校までアルバイトが禁止されている事情があるものの、その差は、おそらく子どもたちの「お金」「こづかい」に関する感じ方や見方を決定的に違ったものに行っていると考えられる。

図A 手伝いの時間



むずかしい金銭のしつけ

昔はなかったが、現在子どもの「しつけ」の中で重要な部分を占めるようになったのが、「テレビのしつけ」と、もう一つ「こづかいのしつけ」であろう。両者とも古い世代の親たちには、十分な（または全く）体験がないために、しつけのノウハウがわからず、立ち往生してしまっている。

中でもこづかいのしつけに関しては、昔の子どもと現代の子どもの環境や生活条件が全く違ってきてしまったことで新しい対応が必要になってきている。その昔われわれの両親や祖父母は、おもちゃも絵本もおやつもほとんど与えられない日常の中で、お正月との盆にもらうわずかなお年玉とこづかいだけが、無上の楽しみだったという。しかし今の子どもたちは、有史以来の「豊かな社会」に生まれ、モノの洪水の中で暮らしている。こづかいを与えるとしてもその意味は、昔と大きく違ってきて当然であろう。



そして現代の家庭における「こづかいの与え方」「金銭のしつけ」を見ていると、どこかがどうもおかしい、間違っている、という気がしてきてならないのは、筆者らだけであろうか。

たとえば現代の「こづかい」のしつけの一般的なスタイルは、子どもがほしがらようになったら（幼児期は）1回20円とか30円とかをその都度（多くは1日1回）与え、やがて週決めで渡し、最後に小学校へ入ってから（または何年生かになってから）月決めの月給制度へ移行するやり方である。そのほかに、お正月には「お年玉」が与えられ、誕生日やクリスマスには、品物がプレゼントされるのも、ごくふつうのスタイルだ。

その結果、（小学生ナウVol. 1-10で見たように）子ども部屋はモノで埋まり、（同じくVol. 1-6で見たように）子どもの貯金通帳の数字は次第に5ケタから6ケタへと勢いを増していく。



豊かな社会の中で

そうした一方で、最近の子どもたちが物を大切にしないと、おとなたちは盛んに嘆いてみせる。学校では、落し主のあらわれない落し物が増えるばかりだとも言う。しかし子どもたちをこうしたモノとお金の洪水の中に置いておいて、ただ節約を説き、モノを大切にすることだけを要求しても、そのコトバが宙に浮いてしまうのは当然ではないだろうか。モノを手に入れるには必ず金銭が必要であり、金銭を手にするには必ず労働体験が必要だ。そうした感覚を養うことが、まず金銭教育の第一歩であり、その上に立って、与えられた金銭をいかにうまく使うか、その態度と能力を育てることが図られねばならないだろう。

とするとさきに見たように、勤労体験(家事も家業も含めて)を全くとっていいほ

ど欠いていて、しかも戦後にこづかいの月給制が一般的になってしまったわが国の場合、正しい金銭教育をしようとしたら、この両側面から、今日の子どもたちの生活のあり方を根本的に問い直してみなければならぬであろう。

このうち「手伝い」については、すでに小学生ナウVol. 1-5(1981年)で、調査データをもとにして、いくつかの問題点が浮き彫りにされた。本稿では、われわれの行ったこづかいのしつけの調査データをもとにその現状と問題点を明らかにしたいと考える。

なお巻末に掲げたように、調査が実施されたのは、昭和56年6月、調査対象は東京都渋谷区、千葉県柏市、安孫子市、千葉市(3校)の計6校の小学4・5・6年生計1,824名で、学校通しのアンケート調査によるものである。

提 言

①月決めのこづかいを与え始めると同時に、もっと家事における役割分担の量を増やそう。

②月額は、年齢、地域、買う物の範囲などによって異なるが、全体としてやや足りなめの金額に抑えよう。

③定期的に与える額以外は、原則として与えないようにしよう。必要なら、前借り、貯金をおろす、アルバイトなどによって不足分を手に入れるべきであろう。

④失敗体験を積ませるため、使いみちには口を出さないようにしたい。

⑤子どもの貯金は貯めておくものではなく「よりよく使うためのもの」であることを認識しよう。

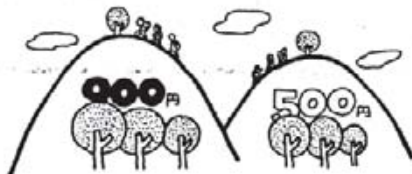
⑥子どもの貯金通帳に、何十万円もの巨額な金額を入れないようにしよう。通帳の額は、子どもがその額の重みを実感できる程度、またはおろして使ってしまえる程度のもにしたい。

(千葉大学附属小学校教諭) 上 杉 賢 士
(青梅市立第二小学校教諭) 金 子 純 江
(東京学芸大学助教授) 深 谷 和 子

要 約

① 1,096円

毎月のこづかい額は、6年生1,096円、5年生855円、4年生696円。ただし、5年生・6年生では、額が二極化し、500円ぐらいと900円ぐらいとの2つの山に分かれる。



② 8割

6年生になると8割は月決めてこづかいをもらうようになる。しかし数こそ少ないが2%はまだ毎日もらっているし、11%は、ほしい時にもらう、というやり方をとっている。



③ 2,119円

男子の45%、女子の50%は、「今の金額でちょうどいい」と言っているにもかかわらず、「ほしい金額は」とたずねられると、男子は2,119円、女子は1,238円と答えている。その底には、漠然とした欲求不満状態があるのかもしれない。



④ 100万円

子どもたちの多くは、こづかいとお年玉とをあわせて、かなりの金額の貯金を持っている。多い子は100万円を超えるが、こうした高額預金者がどの学年にも2人ぐらいはいる。9万円を超す子どもは26%にもものぼり、単純な平均額はほぼ9万円。中央値は4~5万円となる。いずれにしても、小学生としては大きな額である。



⑤ 72%

そうした貯金は、ほとんどが活用されず、通帳の数字だけがが増えていっている。1度も預金をおろしたことがない子どもは72%にも達する。



⑥ 1,082円

親のこづかいのしつけを「抑制型」「積極型」に分けると、女子より男子の方に、また高学年ほど積極型のしつけが増えていく。

また積極型のしつけをうけている子どもは、そうでない子どもと比べ、消費行動が盛んで、しかも高い商品でもできるだけ自分のお金で買おうとし、またけっこう現在の金額に満足していて、1,082円と、それほど過大な増額を望んでいない。



1. 金額・もらい方・満足度



子どもとこづかいとの関連で、まず第一に問題になるのは、毎月の額であろう。おとなの場合の労働賃金と違って、子どものこづかいは、教育的意図から渡される性質のものだから、その枠の設定は、教育的主旨にそったものでなければならない。それだからこそ「月に何円ぐらいがいいのでしょうか」という質問が、母親からよせられる質問の中で最も多いものの一つになってくるのだろう。

しかし言うまでもないことだが、仮に月決めのこづかいシステムをとり入れるとし

てもその額は、①子どもの年齢、②買わせる物の範囲（おやつ代や学用品を含むかどうか）、③周囲に子どもが買い物できる店があるかどうか、④周囲の友だちのお金の使い方（子どもがよく買い物をする下町のような地域と、その習慣が少ない山手などの地域差）等の条件で変わってくるので、一定の線を出すのはむずかしい。さて実際に子どもたちはいくらぐらい、こづかいをもらっているのだろう。

いくらもらっているか

図1には、子どもたちが手にするこづかいを1か月を単位として集計した結果を掲げた。

全体としては、月平均890円。性別による金額の差はさほど大きくないが、学年を追う

につれて平均値で150円ほどずつ金額が増えている。

何年前には、こづかいの額の算定方式が[100円×学年数]だった時代があったし、今筆者らの手許にある昭和51年の母親向け雑

誌には〔100円×学年数+200円〕となっている。今回のデータではそれがさしずめ〔200円×学年数-100円〕となっていることがわかる。

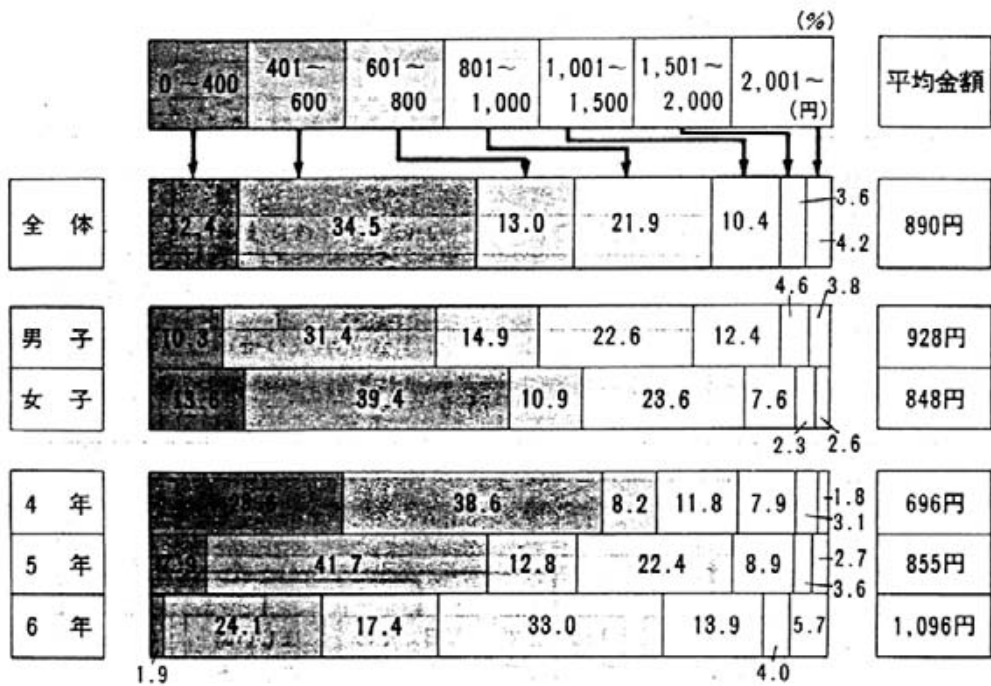
しかし、こづかいの金額を平均値だけから見ようとするのは必ずしも適切でない場合もある。一部の「高額所得者」によって平均値もつり上がってしまうからだ。そこで学年別にもう少し細かく見てみよう。4年生では500円前後が39%でいちばん多く、それより以下も29%と多いが、その上の600円を超える者は次第に少なくなっている。ところが、5年生・6年生ではこづかい額が二極化する傾向を

見せる。5年生では、やはり500円前後に第一の山があり42%。さらに第二の山は900円前後のところて22%。6年生は第一の山が500円前後で24%、第二の山は900円前後で33%。

つまり学年が上がると、「低額所得者」と、「高額所得者」に層が分れていく傾向が見られる。

これは、子どもたちにとってのこづかいの意味を探る上で、大変興味深い事実であるが、その考察は後に譲るとしよう。

図1・1か月のこづかい



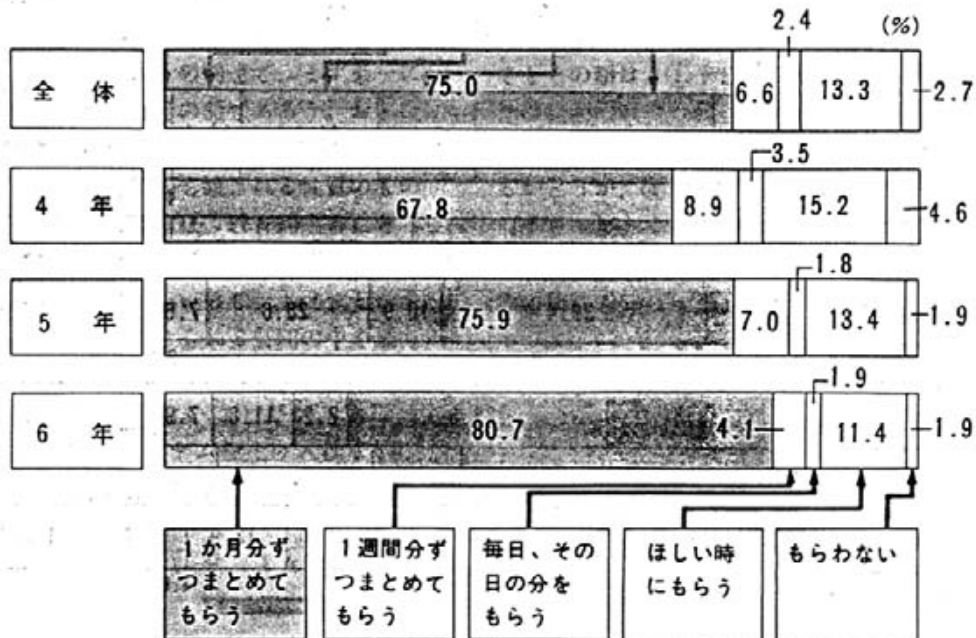
ほとんどが月決め

さて、図2は、こづかいのもらい方（与え方）の結果である。4年生で7割、6年生で8割、全体としては、半の子どもが、〔月決め〕でもらっている。一度もらったこづかいて一か月を賄うにはそれなりの計画的な使い方が要求されるわけで、学年を追うにしたがってその割合が増していくのはわかる。

しかしそれにしてもふだんはもらわず「ほしい時にもらう」という子どもたちが、6年生になっても1割程度いるという事実をどう考えればよいのであろうか。子どものこづかいは、それで子どものほしいものを手に入れさせるためだけのものではない。無計画に使

ってしまったために、本当に必要なものが買えず不自由をしたとか、高いお金を出したが、期待はずれの品物であったとか、そうした失敗体験から、子どもがセルフ・コントロールの能力を身につけたり、計画的消費の能力を育てていくことを期待して与えられる「学習場面」の設定であるとも言えるだろう。6年生になってもその場の与えられていない子どもたちは、おそらく他のしつけの領域でも同じように、自立への援助がなされていないのではなかろうか。

図2・こづかいのもらい方



満足しているだろうか

図3・もらったこづかいが早くなくなってしまうことは

	(%)			
	たいていそうなる	わりとそうなる	たまにそうなる	めったにそうならない
男子	11.4	11.3	38.1	39.2
女子	5.0	6.3	36.9	51.8
4年	6.8	9.2	34.7	49.3
5年	7.3	7.3	37.2	48.2
6年	10.9	10.4	40.3	38.4

さて子どもたちは、与えられたこづかいをうまく使っているのだろうか。不足はないのだろうか。

図3は、もらったこづかいが早くなくなってしまうことがないかどうかをたずねた結果である。

〔めったにそうならない〕〔たまにそうなる〕を合わせて、約8割の子どもたちがまずは順調な台所のようなものである。そしておもしろいのは、図1で見たように、男子は女子よりちょっと平均月額が多いのに、男子の方が早くなくなってしまうと訴え、また学年が上がるにしたがって、やはり同様な訴えの者が増える。とはいうものの全体として子どもたちは、思ったよりうまくこづかいを使っているという気がする。しかしこれは、子どもたちの使い方がうまいためか、それとも額が多すぎるのか、そこが問題であろう。

このことを図4で確かめてみよう。今の金

額の過不足をたずねてみると、半分ぐらいの子どもは「ちょうどいい」と答え、「あまっている」と答える子どもも2割はいる。あまりほど与えるのはむしろ「こづかいのしつけの失敗」であろうが、「ちょうどよい」のもどうだろうか。もしこづかいを与えることの意味が、失敗体験を期待した一つの学習場面であり、それがセルフ・コントロールや計画的に生活するなど、単なる経済生活を越えて、人格形成の領域にまでかかわるしつけと考えるなら「少し不足」なくらいがちょうどよいのではないだろうか。とするとこの半分ぐらいに達する「ちょうどよい」者の割合は、少し多すぎる感じもしないではない。

さて次はもっと直接的に「一か月いくらほしいか」をたずねてみた。図5に示したように、男子は今の約2倍(2,119円)女子でも5割増し(1,238円)という増額要求をしている。しかしこの結果はどこかおかしい、という

気がする。先に見てきたようにもらったこづかいが、次にもらえる日までになくなってしまふことはあまりない(額はちょうどいい)、と言いながら、一方では、不足感を抱き、もっとうんとほしいという。これはいったいどうなっているのだろうか。

これには二つの意味が含まれているようにも思う。まず第一は、最近になって子ども向け市場に送り出される商品がますます高額化し、何万円もする、すでに「おもちゃ」とはよべないようなものになってきたことと関わっているように思う。

かつて、子ども向けに用意された「おもちゃ」は、比較的稚拙なメカニズムのもので、こわれやすかったが、それが故に安価でもあった。それを買うためのこづかいも、やり直しのきく一種の習作であるという性格もあった。こうしたバランスの上に、子どもにとってのこづかいは意味を保ち続けてきたといえよう。ところが、最近では、「おもちゃ」と「本物」の境い目が曖昧になってきた。「おとな」の使用に堪える「おもちゃ」、「おとな」が遊んでも楽しい「おもちゃ」が決して少なくない。そしてそうした魅力的な商品情報が、テレビや雑誌のCMを通じて、絶えず子ども

のもとに送られてくる。しかしこれらは、子どもの限られた額のこづかいの中では、到底手に入れることができない。いわば子どもたちは、慢性的に「ほしいけど買えない」というフラストレーション状況の下に置かれているとも言えるだろう。これは子どもにとっての新しいタイプの不幸であるとも言えるだろう。

もう一つは、もう少し心理学的な解釈からのものである。人間は心に穴があくと、時にその穴をモノやお金で埋めようと努力する。失恋した女性が大喧嘩をしたり、年とって孤独になった老人が守銭奴になったりする例は、珍しいものではない。

今の時代の子どもたちは、50年前、100年前の子どもたちと比べると、全体としては限りなく幸福だと言えるだろう。しかしその反面、どこかに新しいタイプの不幸をも背負いはじめているのではないか。たとえば自然の中で遊べないとか、友人との接触が少ないとか、勉強がきつすぎるなどがあるとしたら、それが「モノ」や「金銭」への(正体のはっきりしない)渴望となってあらわれてくることだって、十分考えられることだろう。

図4・今の金額では

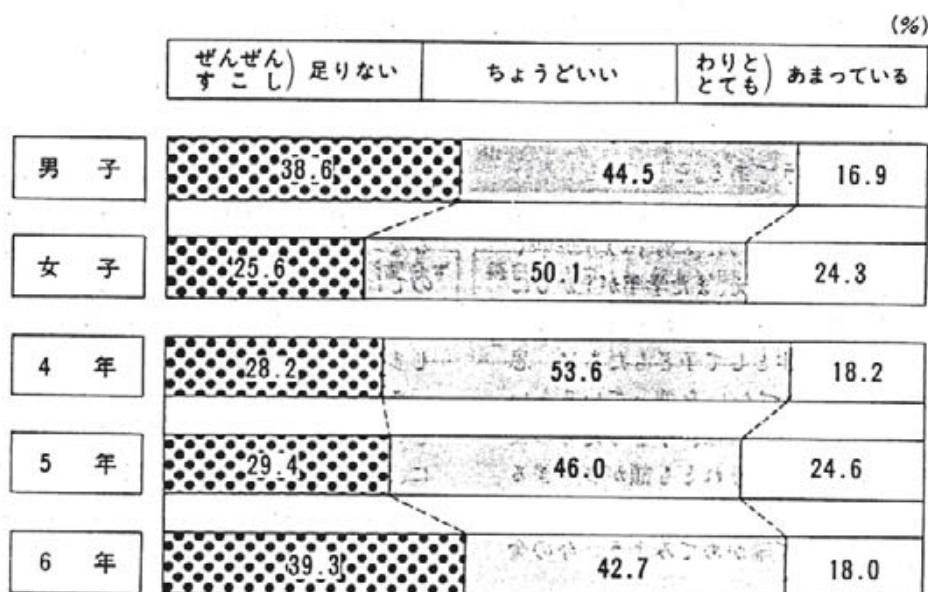
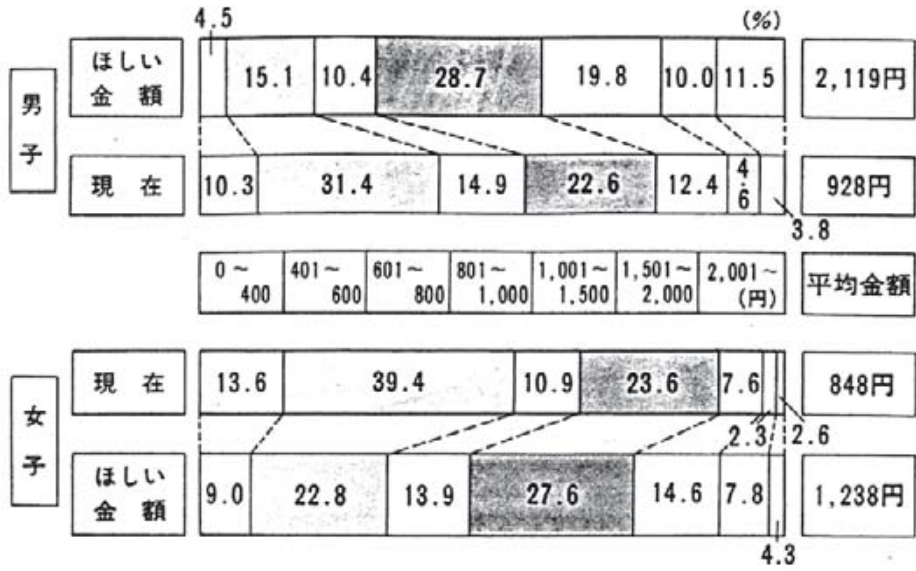


図5・1か月にほしいこづかい



子
り
ら
こ
づ
か
い
の
こ
と
を
し
ら
べ
て
み
よ
う

2. こづかいの使いみち



よく買うもの

それでは、子どもたちは手にしたこづかいで、一体どんな物を買っているのだろうか。図6と図7に、あらかじめ用意した9項目について、〔時々・わりと・しょっちゅう〕買う物と〔ぜんぜん・たまにしか〕買わない物との境界を、折れ線グラフで示した。

具体的な数値は、巻末の集計表に掲げてあるが、全体として、「ノート・鉛筆」などの学用品・「食べ物」・「趣味のものやまんが」などがこづかいの用途の上位にランクされている。しかし、それらも、〔時々買う〕までを含めて、せいぜい50%と、かなり低い数値に留まっている。別に浪費をすすめるものではないが、なにか子どもたちが、もらったこづかいをあまり生かして使っていないような気もしてくる。

もう少し細かく、学年別の変化を追ってみ

よう(図6)。多くの項目がそれほど変化していない中で、「まんが」と「趣味のもの」が、一定の割合で伸びていることがわかる。学用品や本といった品目に比べれば、どちらも親の公認度が低いものであろうが、その分だけ、親の束縛を離れて自らの世界を形作り始めた彼らの、発達的な傾向の表れとも考えられよう。この傾向は、図7にも示されている。女子が男子を大きく上回るものと言えば「ノート・鉛筆」「物語の本」などであり、これらは親の安心できる使い方であろう。ところが、男子は、「おもちゃ・ゲーム」「趣味のもの」「遊園地・映画」と、女子よりバラエティーに富んだ使い方をしている。親にとっては心配の種であるかもしれないが、何かここにこづかいが生きて使われているような気もしてくる。

図6・こづかいで買うもの・買わないもの

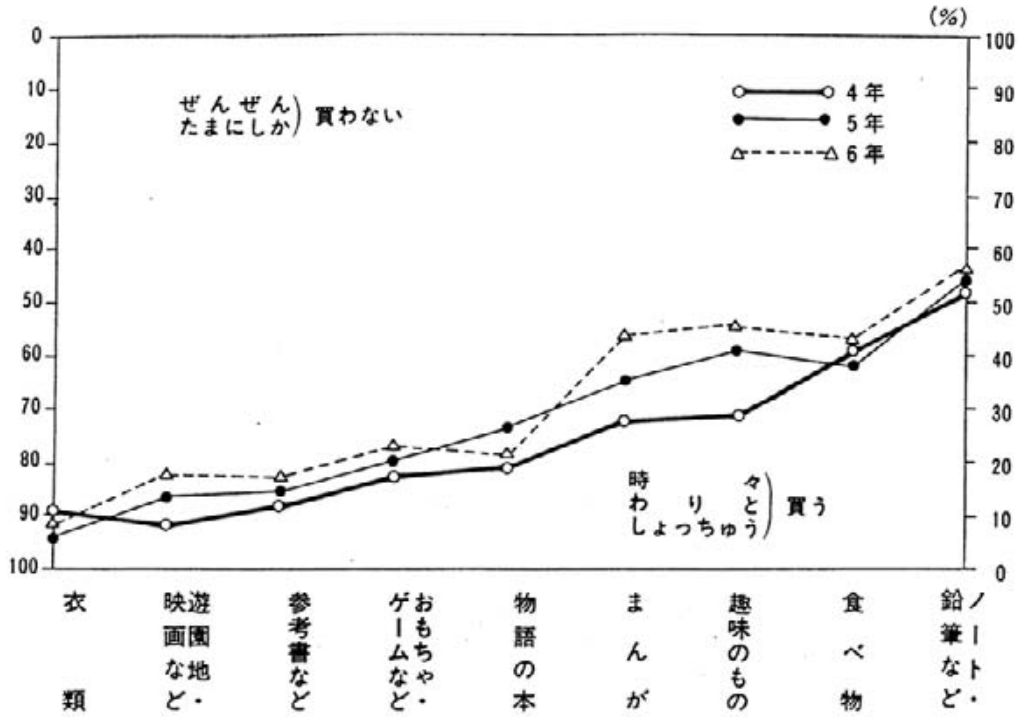
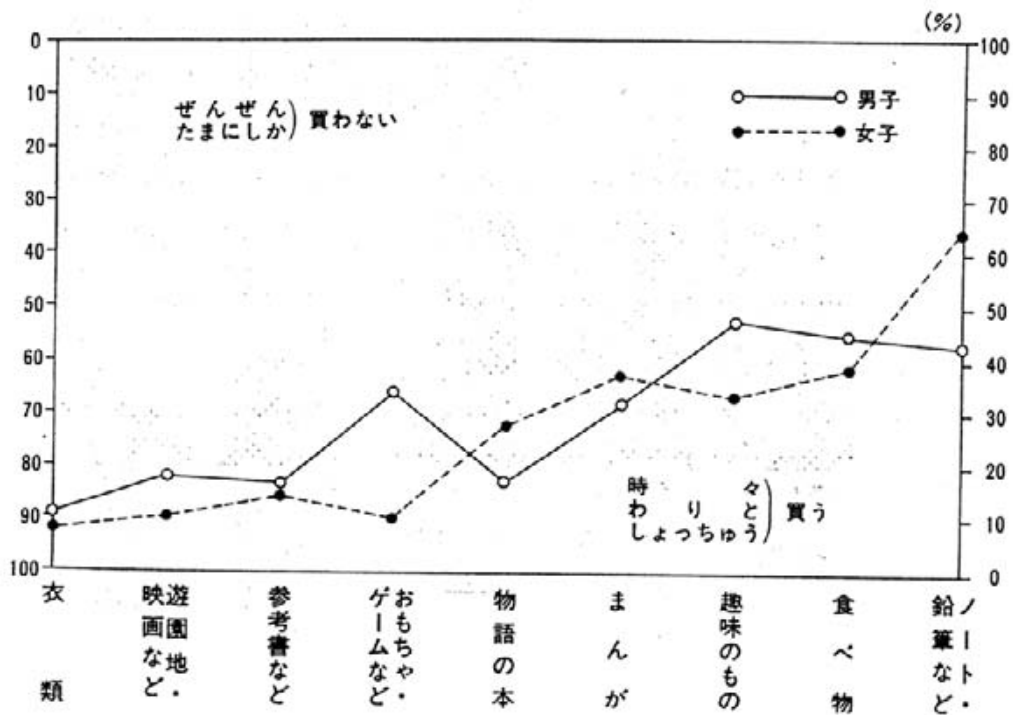


図7・こづかいで買うもの・買わないもの



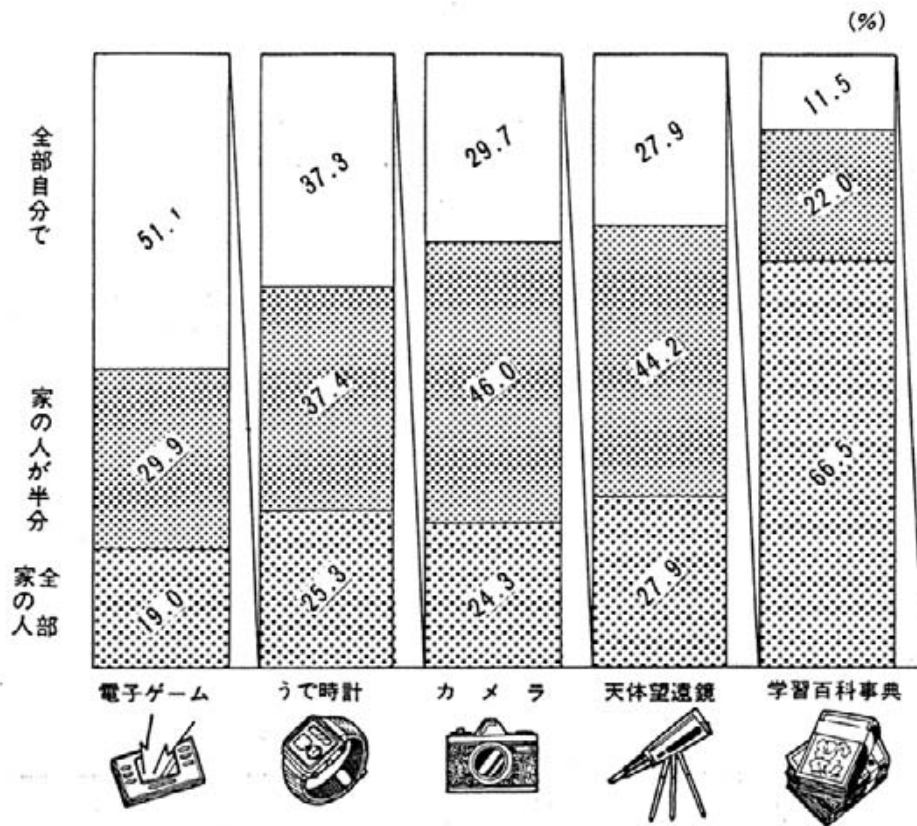
高価なものを買う時

さて図8は、ふだんのこづかいでは手に入らないような高額商品を子どもたちが買う（または買ってもらいたい）時、こづかいが、どの程度の役割を果たすのか、（むろんお年玉などの貯金分も入っているであろうが）それを見ようとしたものだ。図8は、遊びの要素が強いものから学習的色彩の強いものへの順に配列してある。

さすがに、電子ゲームでは51%、うで時計でも37%と、親の財布をあてにしない子ども

たちがかなりの数にのぼる。どちらも数千円のものである。安いからまかなえるという理由もあるだろうし、遊びの要素が強いものだから、家の人にはねだりにくい、という点もあるだろう。しかし他の商品でも、必ずある割合の子どもは、高額でも「全部自分で」または「半分は自分で」支出して、これを手に入れようとしている。こづかいのこのような使わせ方こそ、その教育的主旨を十分に生かしたものだと言っていいだろう。

図8・高価なものを買う時



3. もうひとつの使いみち「貯金」



どのくらい貯金しているか

今までの数字をふり返ってみると、子どもたちの実収入に比べて、それで買ったものの量がいまにも貧弱だという印象を受けずにはいられない。こづかいのかなりの部分は、「貯金」という行き先を持っているのではないだろうか。

図9は、子どもたち名義の貯金通帳の中に、現在いくら貯金があるかを表わしたものである。1万円以下がおよそ2割。他方9万円を超える者が全体のすと、貯金残高は、両極端にわかれている。したがって子どもたちの貯金残高を示す数字の算出に、とまどってしまう。まず中央値をとれば、1人当りの金額は4~5万円となるし、9万円を超える子ども26%の中には、天文学的な数字を示す子どももいるので、単純に平均するとこの倍ぐらいにはなってしまう。

たとえば最大値としては100万円かそれ以上というのが各学年2人ぐらいいるし、80~90万円の子どものもそのぐらいいる。以下このくらいの割合で50万円・60万円・70万円台の子どもがいて、40万円台になると0.6%(本サンプルで11人)、30万円台が2.5%(46人)20万円台が4.1%(75人)ということになる。むろんこの中には、本人名義の通帳というに過ぎない場合も多いだろう。しかしとにかく子ども自身は「ぼくの貯金は100万円」という感覚でいるのだ。生れてから一度も労働によってお金をかせぎ出したことのない子どもが、すでに何十万円のお金を持っているつもりでいる。これはどう見ても、子どもをスポイルする以外の何ものでもないだろう。

他方、貯金がゼロという子どももむろんいる。全体の中ではほぼ1割に過ぎないものの、

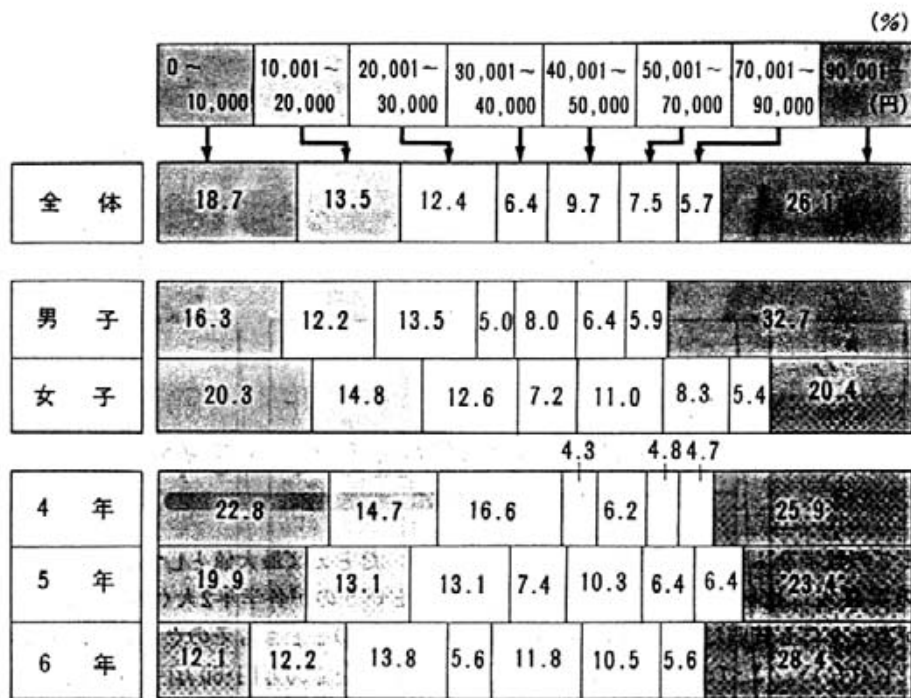
3. もうひとつの使いみち「貯金」

やはりこれでもいけないのではないかと思う。

さてお年玉の平均だが100万円とそれ以上の子ども5人ほどは、あまり極端なのでのぞいて計算すると、1人当たりほぼ9万円ということになる。中央値の4～5万円と比べると2倍近いが、いずれにせよ大きな額である。

この子どもには巨大な金額は、毎年もらったお年玉の蓄積の結果なのだろうが、もちろんこれに毎月もらうこづかいの残額も加わっていく。問題は、一旦貯金通帳に入ったこづかいがその後どのように使われていくかであろう。

図9・貯金残高



貯金とその後

図10「貯金をおろしたい時」を見てみよう。図が示すように、46%の子どもが高いものがほしくなった時に、11%の子どもがこづかいがなくなった時にと、半数以上が、自分の貯金をおろしたい、という気持ちにかられることがあると言う。しかし残り43%の子ども

は「おろしたいと思ったことがない」貯金を持っていることになる。これらの子どもたちにとって貯金とはいったい何なのだろう。

さらに図11を見よう。図によれば、「時々おろす」子どもはわずか6%。1、2度おろしたことのある子ども21%を含めて、全体の27

%しか自分の貯金に手をつけたことがない、という数字が見い出される。せっかく預金したお金を「おろしたことがない」72%の子どもたち。いったいこれで貯金の意義があるのだろうか。貯金をさせることの教育的目的は果してこれでかなえられているのだろうか。

まだデータがある。図12は貯金する理由をたずねたものだ。「家の人がいるので仕方なく」はわずか14%。残り86%は一応子どもたちの意志で貯金している勘定だ。しかし「特に買いたいものがないので」貯金している、24%の子どもたち。これは明らかにこづかいの与えられすぎではないのだろうか。望むものは何でも与えられ、その上望みもしないこづかいまで、先回りして与えられている子どもたち。豊かな社会は、何と不幸せな子どもたちを生み出したことだろう。

さらに図12を見よう。「貯金が増えるのが楽しみだから」貯金する子どもたち61%の数字は、何か無気味感じもする。「何かのために」お金をためるのではなく、何にも使いみち

がないがただ数字の増えるのが楽しみだという。これが子どもの感覚だろうか。しかもそのお金が子どもたちの労働によって生み出されたのなら、それなりの意味があろう。仮に2万円が4万円になったとしたら、それは子どもが「労働した」量も確実に2倍には増えていることのアかしなのだから。しかし本サンプルの場合は違うのだ。いわば不労所得。どういうわけか何もしないのにどんどんお金が入ってきて、貯金通帳の数字だけがパチパチと増えていく。それを楽しむ子どもたち—その姿は年寄りのように背中曲ったものに思えてくる。

ともあれ、子どもたちに対する現代の親たちの「金銭のしつけ」は、どこかがおかしい、という気がしてくる。

次章では、そうした親の子どもに対する経済的なしつけの実情をさらに探ってみることにしよう。

図10・貯金をおろしたい時

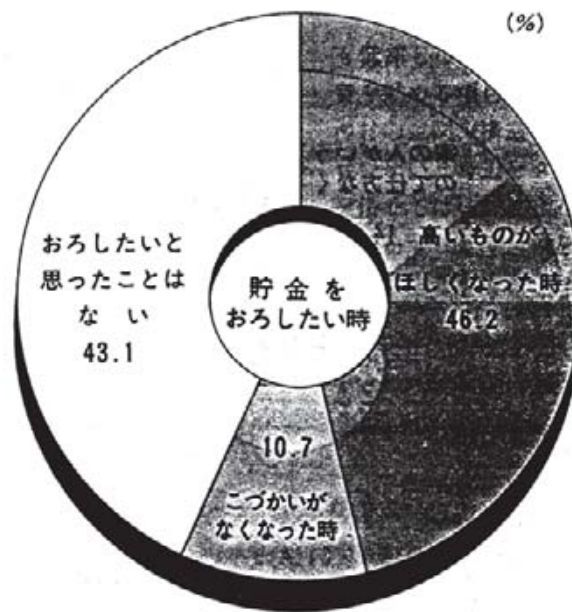


図11・貯金をおろすか

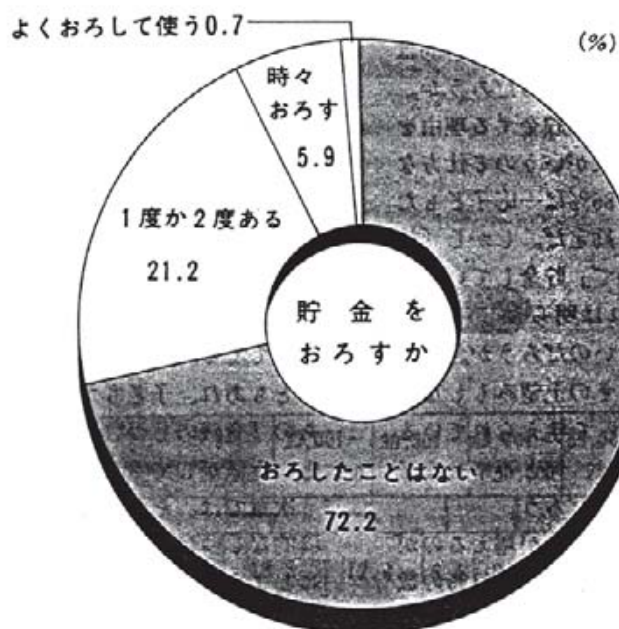


図12・貯金をする理由



4. 親はこんなふうにしつけている



抑制型と積極型

図13と図14には、金銭的・経済的なしつけに関する10項目について、親がそれをどのくらい口にするかをたずねた結果を掲げてある。ここでは便宜上、「なるべく残して貯金した方がいい」に代表される、子どもの消費を押さえる方向でのしつけを「抑制型」として図13に、そして逆に、「残さなくていいから上手に使いなさい」とする、むしろ計画的消費を奨励する項目を「積極型」として図14に、それぞれ分けて掲げてある。

全体としては、「高い物を買う時はことわりなさい」や「つまらない物を買ってははいけません」などを〔しょっちゅういう〕親が4割程度いるだけで、金銭のしつけに関してはいかにも手抜き印象を拭えない。昔、金銭のしつけでよく言われた「買い喰い禁止」が15%、貯蓄を奨励するものも11%と、いかに

も低率となっている。かといって、計画的消費を勧める項目も、15%前後と、親たちのしつけの意図（構造）がどうもはっきりしない。せいぜい、身辺をクリーンにして（「人にお金を借りてはいけません」37%）、あまりたくさん使わずに（「高い物を買う時は親にことわりなさい」38%）、むだづかいをするな（「つまらないものを買ってははいけません」38%）と、いかにも消極的なしつけの態度に終始していることが読み取れる程度である。

そして、辛うじて高学年になると、積極型のしつけが抑制型を上回り（図15）、女子に比べて男子の方が、どちらのタイプのしつけも頻度が高い（図16）といえるだけである。

考えてみるとわが国の「金銭のしつけ」は、少し前まで「節約」と「貯蓄」の勧めに代表される「抑制型」であった。子どもと金銭と

4. 親はこんなふうにしつけている

の関係では、金銭そのものが汚いものとして、できるだけ子どもにとり扱わせないようにしていたのが、つい3～40年前までの日本社会の姿であった。落語にも、大名の若様が穴のあいたお金を拾うが、何かわからない。お伴の者に「丸くて中に四角の穴があいている。これはおひなさまの刀のツバ？」とたずねるといふのがある。そのようにおっとりとして育てたいというのが、昔の人びとの子育ての理想の一部だったのであろう。

しかし戦後人びとの中で、金銭に対する考え方、とくに子育てにおける金銭教育の理念

が修正されないうちに、どういふわけかこづかいのサラリー制度、しかも労働の伴わないサラリー制度が、子育てのハウツーの中にあつという間にひろがってしまった。もっとも日本には昔から、お年玉やお祭りの時に親が子どもに少額のこづかいを与える習慣があつた。その感覚が、毎月のこづかいの支給を抵抗のないものにしてしまったのであろう。働かないで、さしたる目的もなしに、形だけは父親のように月給をもらうやり方が一般的な形になってしまったのは、このような事情によるものであろう。

図13・しつけのタイプ1—抑制型—

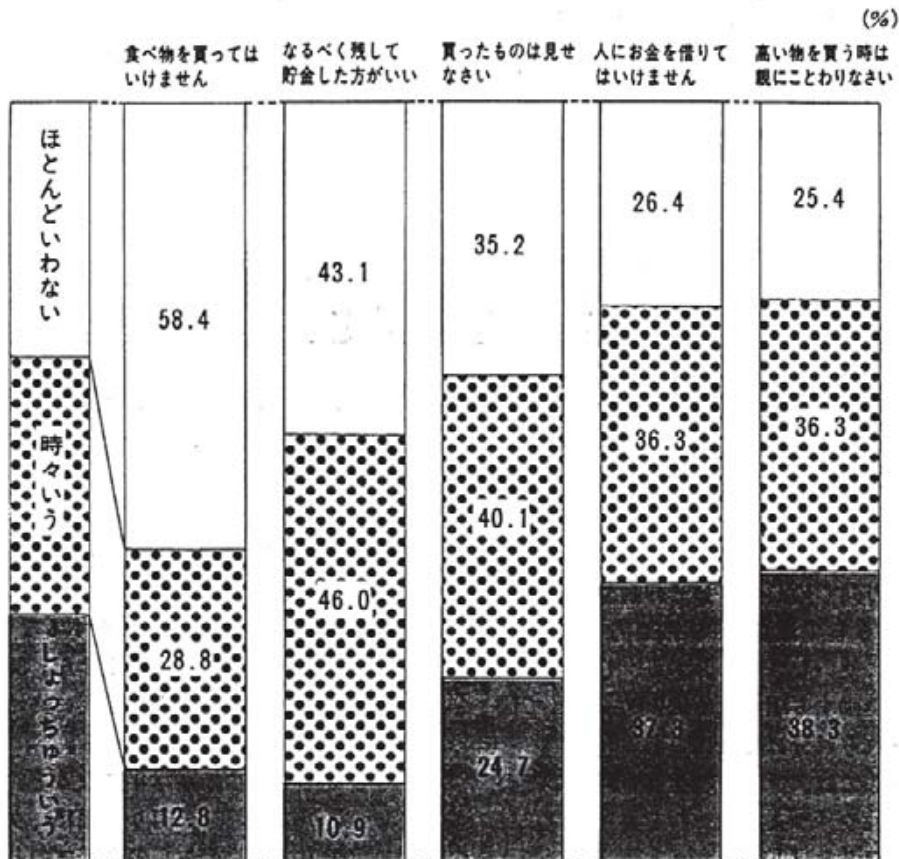
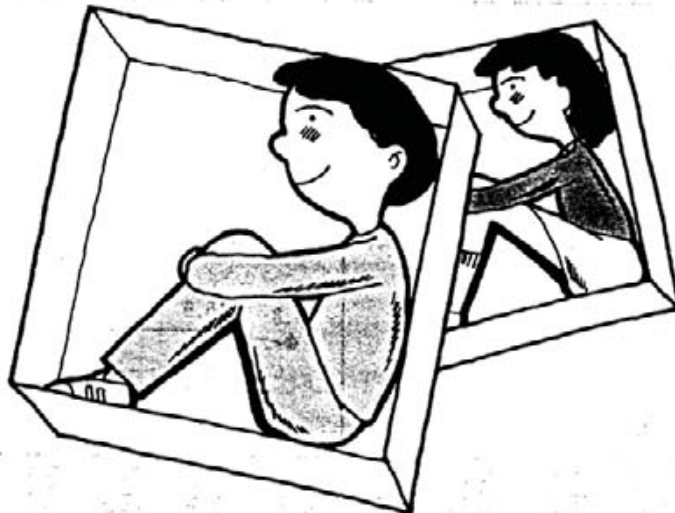
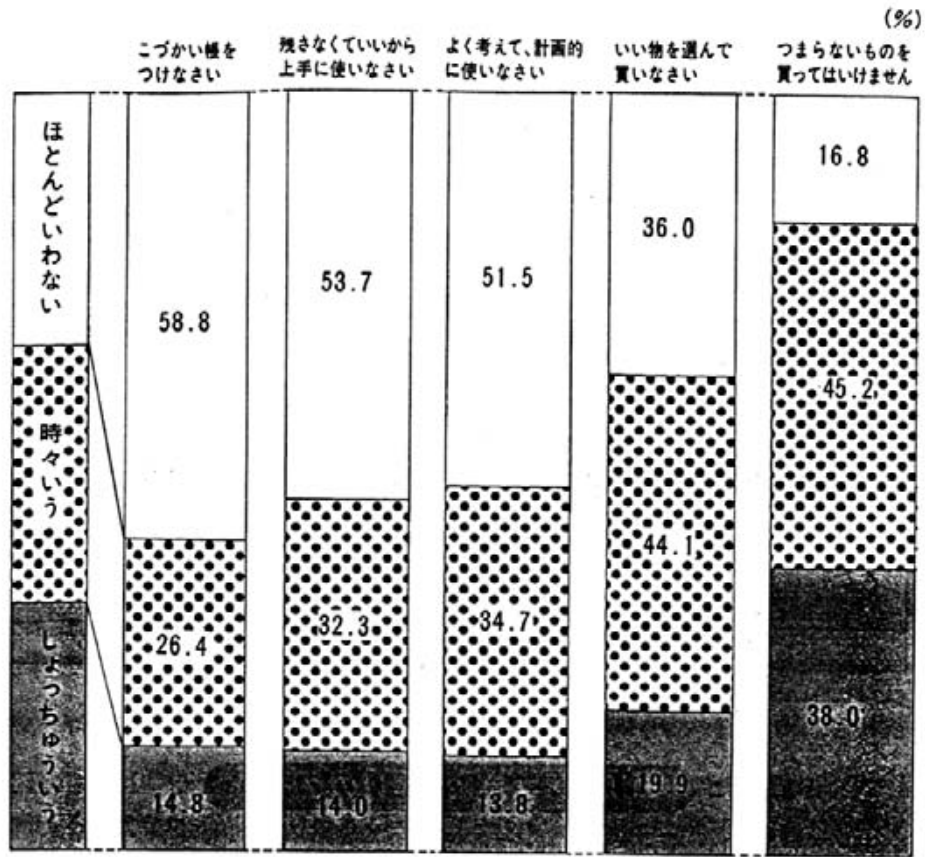


図14・しつけのタイプ2—積極型—



こなにと親が足る形がう

図15・学年差×しつけのタイプ

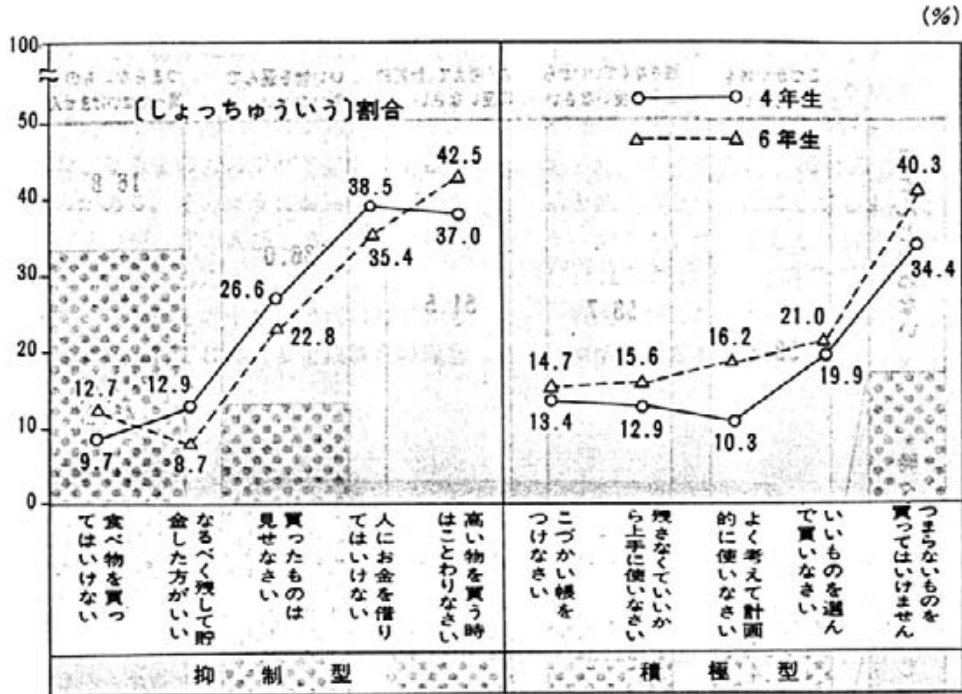
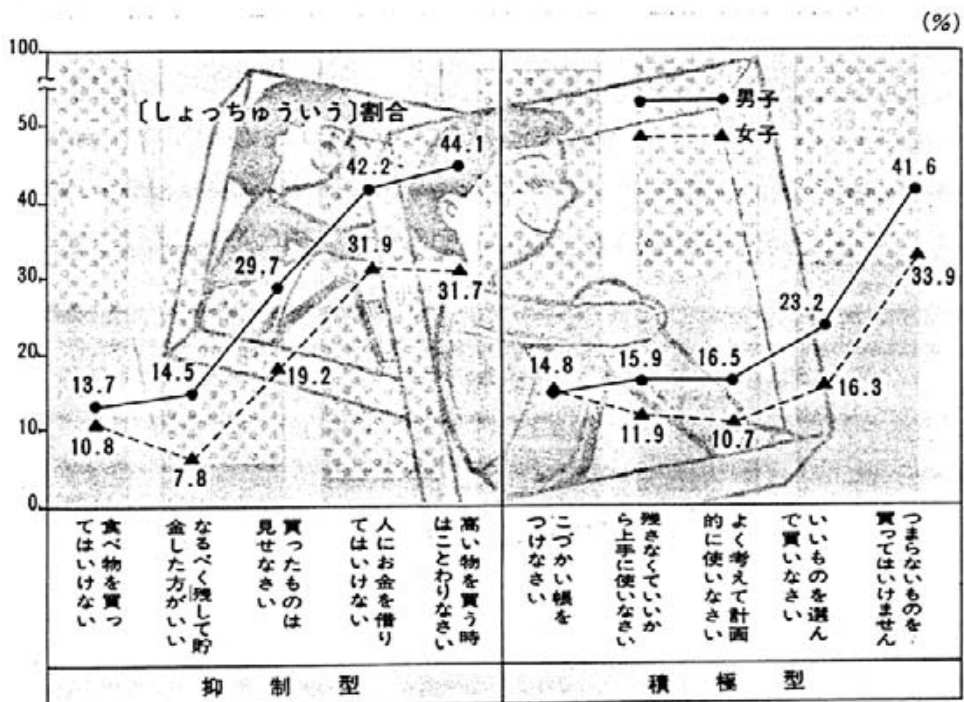


図16・男女差×しつけのタイプ



5. こんなふうにしつけよう



本テーマのまとめとして、最後に、子どもたちの動向も合わせながら、しつけのあるべ

き方向を探ってみることにしたい。

積極型しつけと消費行動

本章では、こづかいの与え方についての2、3の提言をしたいと思うが、その前にまず親たちのしつけのパターンと子どもの消費行動との関連について、いくつかのデータを見てみたいと思う。

ここでの親のしつけのパターンとしては、前に引用したしつけに関するデータの中で、「積極型」しつけの結果を使って行くことにする。「積極型」のしつけの方が、こづかいに関してはより教育的意図にかなった、または進んだ（高学年のしつけ）タイプと考えたからである。

調査票の中から「こづかい帳をつけさせる」「残さなくていいから上手に」「計画的に」

「つまらない物を買わずに」「いい物を」の項目をぬき出して、親が「ほとんど言わない」を1点、「時々いう」を2点、「しょっちゅう言う」を3点として、加算点を算出してみた。全くしつけがされていない子どもが5点、よくしつけがされている場合が15点となる。これを用いて、しつけの高得点群と低得点群に分け、4年生を例にとってその消費行動を比較してみることにしよう。(表1)

図17に表れているように、しつけの高得点(よくしつけられている)群では子どもたちの消費行動も盛んで、また図18に示したように、高額商品を買う時も、親への依存率が低く、できるだけ自分のお金で買おうとする構えが

5.こんなふうにしつけよう

見られる。

しかもおもしろいのは図19である。こづかいとしてほしい額をたずねた結果との関連では、「積極型」のしつけをされている子どもの方は、1,082円、放任されている子どもの方は1,422円となっている。つまりこづかいのしつけ（「積極型」の）をされていない子は、自分で物を買わず、高額商品がほしい時には親をあてにする傾向があるわけだから、ほしい金額も少なくてよいはずなのに、逆に3割以上(340円)もの高い要求をしている。つまりこれらの子

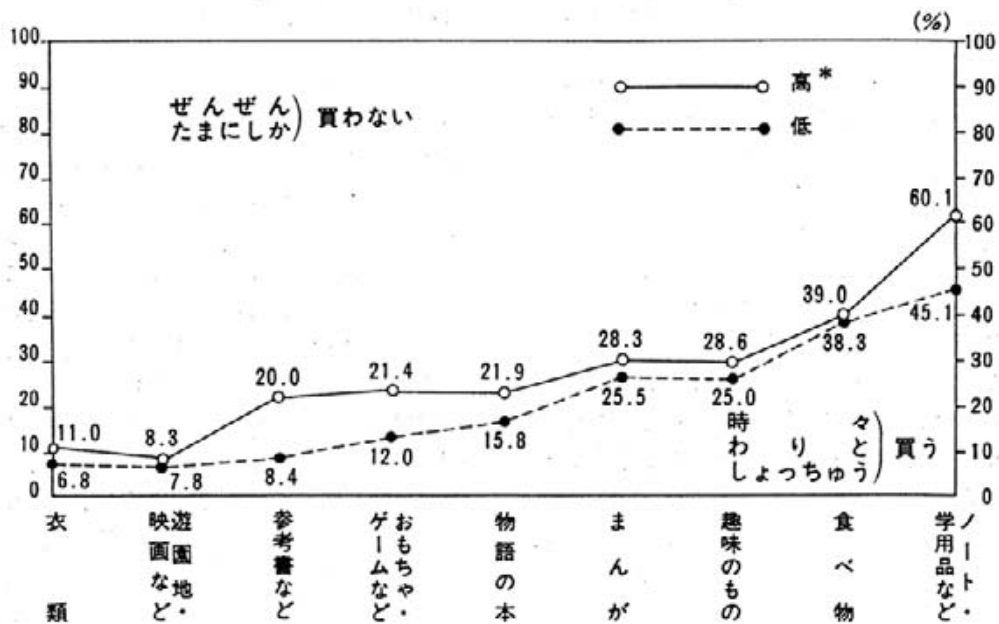
どもたちは、消費行動に関して親たちから自立性を尊重されるしつけをうけていない。そのためにかえって漠然とした欲求不満が起り、その穴埋めとしてよけいこづかいをほしがるようになってきていることも考えられる。逆に積極的な金銭のしつけをされている子どもたちは、やり繰り算段や金勘定といった計画的消費をしたたかに行いながら、結構いまの金額に充足感を抱いているという姿が浮かんでくる。これは、かなり重要な結果である。

表1・しつけランクの構成—4年生を例として—

(積極型のしつけの5項目、5点~15点)

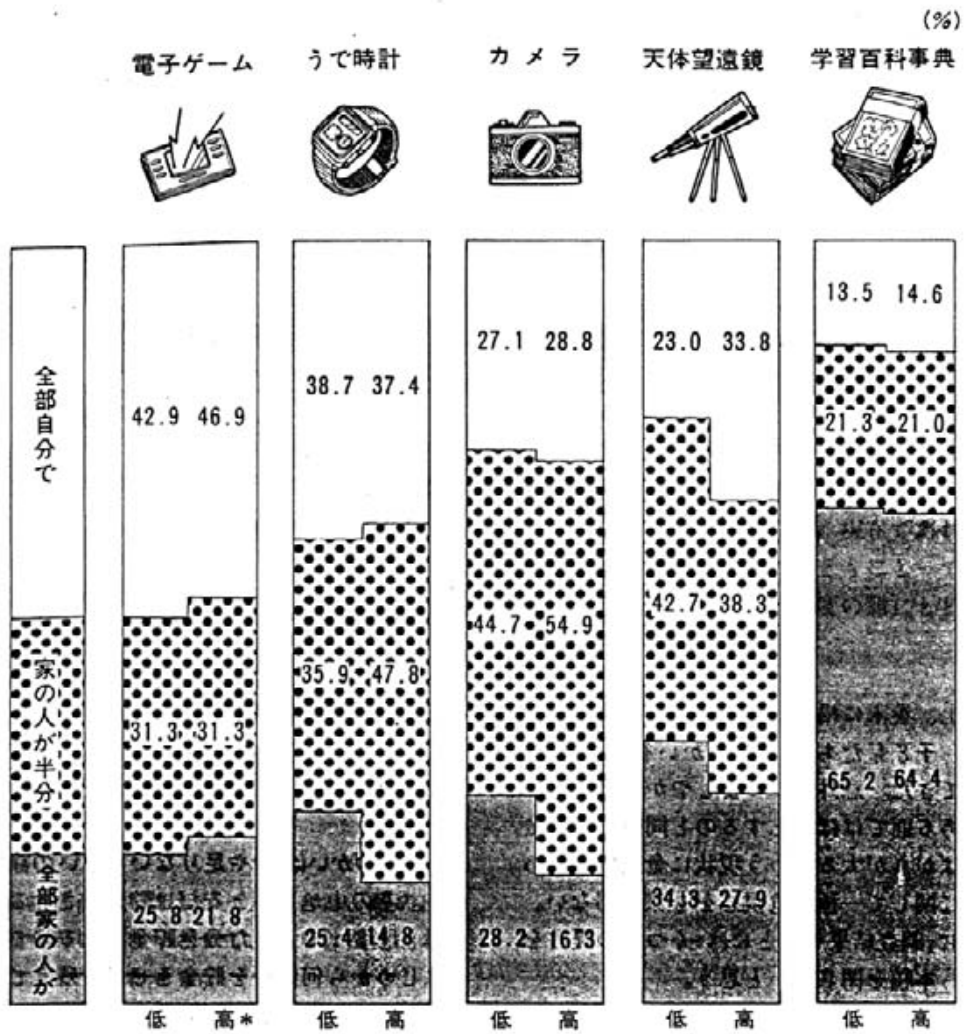
しつけランク	低	中	高*
加算点の範囲	5~7	8~9	10~15
サンプル数	189人	210人	167人

図17・こづかいで買うもの×しつけ



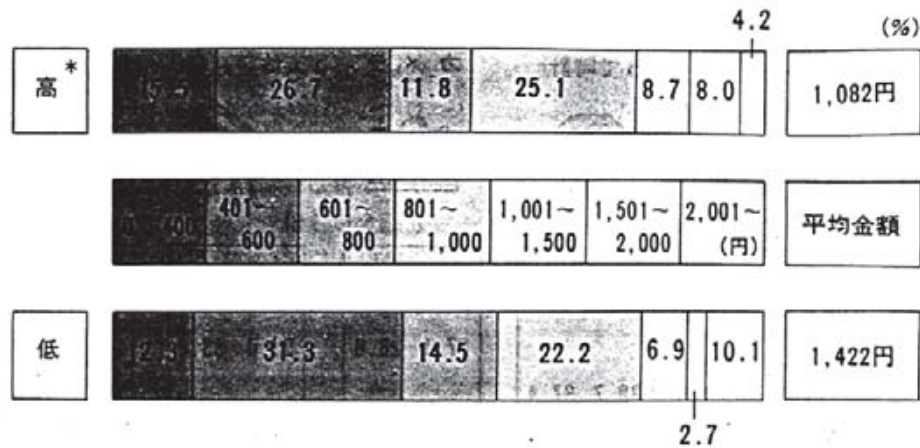
自
そ
こ
し
る。
ど
計
ま
か
る。

図18・高価な物を買う時メシつけ



* 高一積極的なしつけを受けている群
低一積極的なしつけを受けていない群

図19・ほしい金額×しつけ



いくつかの提言

以上、巻末に掲げた調査票による結果をもとに、子どもたちの「こづかい行動」をながめてきた。意外につつましやかな行動ぶりにはある面ではほっとすると同時に、貯金通帳ばかりが太るという現状に金銭教育のあり方に関して一種の危惧感をも禁じ得ない。最後に、調査結果をもとに、いくつかの提言をして、本稿を閉じたいと思う。

(1)小学校に入学したことをきっかけに、週決めまたは月決めて、こづかいを与え始める。ただしそれと同時に、家庭内でいくつかの役割分担（自分のこと以外に、家族全体の生活にかかわること、たとえばゴミすてとか、戸じまり、玄関のそうじなど年齢や能力にあわせて）を設定し、それらの代償としてこづかいを与える、というニュアンスを持たせる。（しかし肩たたき何円、お使い何円、のように個々の行為におだちんを与えるようなやり方をしてはならない）つまり何もしなくてもお金が入ってくる、という感じを持たせないようにする。また、何か高価なものを買うために特別にこづかいが必要な時は、いつ

ものお手伝いに加えて何か大変な労働を伴うアルバイトを、ということも家庭の中では試みられてもいいと思う。

(2)こづかいは、やや足りないぐらいの額にする。その中からできるだけ貯金もさせる。天引き貯金（あまった分を貯金させるのではなく、はじめから何円かを貯金させて、残りてやりくりさせる）もよいであろう。

(3)こづかいは、それによってどこまで賄うかの範囲をはっきりさせて金額を決める。

学用品から衣類に至るまで、子どもにとって必要な物の一切を賄うとすれば、今の月1,000円程度という金額ではとても賄いきれるわけがない。逆に、親が全てを買い与える現状であれば、こづかいを渡すことの意味さえおぼつかない。そして、範囲が拡大されればされるほど、金額もそれに応じて多額になるから、学年が上がるにつれて、範囲を拡大し、多額なお金の計画的消費を考えさせていく。範囲を限定せず、金額だけを固定していくのでは、経済感覚は育たない。

(4)定期的に与える額が決まったら、それ以外は、余程のことがない限り与えない。その代り「前借り」や「貯金をおろす」ことを必要に応じて認めてやり、その中でやりくりさせる。

なくなってもいつでももらえるという安心感は無計画な浪費につながりやすい。これだけで一か月を過ごさなければならないという緊張感が、計画的消費の第一歩となるであろう。そして、仮に子どもが、無駄に使ってしまうことが心配であれば、そうしても家計に響かない程度の額にしぼってしまう。たとえわずかでも、自らの意志で管理し、消費するという体験を重視したい。

(5)使いみちについては、ほぼ子どもにまかせて、あれこれ口出しをしない。

子どもにこづかいを与えるのは、消費行動における失敗体験によって、子どもの中の的確な経済感覚を養い、また広くセルフ・コントロールの能力や、計画的な生活のしかたを学ばせるためのものと考えたい。したがって、使い方についての助言はよいが、度が過ぎてはならない。失敗を見守る態度が、親の側に必要であろう。

(6)高額な商品をほしがった場合は、親の出資の割合をはっきりさせて、残りは長期的な貯蓄によって賄わせる。

イージーに手に入った物と、何か月か努力して手に入ったものとは、当然のことながら、大切にする度合も違ってくるはず。現在の子どもたちが、物を大切にしないという傾向も、このことと無縁ではない。物の価値は、金額よりも、そうした思いによって決まるのだということも理解させたい。

(7)子どもの貯金は、おとなの「老後や不時の用意に」する貯金と違って、使わせるためのものであることを、親たちがしっかりと認識しよう。

ただしこの場合の「使わせる」目的は、「いい物を買えた喜び」が次にまた「貯金をするはげみ」を作ることを、忘れてはならないだろう。

すなわち、子どもの貯金は、親と子どもとの話し合いて、必要に応じておろしてやることである。

(8)子どもの貯金通帳に、巨額な金額を積み立てないこと。

もし必要ならばそれは別口として、子どもに見せない口座として親が積み立てればよい。子どもに「自分は何十万ものお金を持っている」と思わせてはならない。現在であれば、最高数万円の、すなわち子どもにとってもその額の重みが理解できる程度の額にとどめるべきであろう。

ちょうさのおねがい

これはテストではありません。日本の子どもたちにたくさんおねがいで、その生活をしらべるためのものです。思ったことをそのまま答えてください。

やりかたの練習

あなたはカレーライスが好きですか？

とても好き 1 ———— ② ———— 3 ———— 4 ———— 5
かなり好き ふつう すこしきらい とてもきらい

あなたがもしカレーライスをかなり好きだと思ったら上のように番号のところを○でかこんでください。

① まず学年などを書いてください。

- ① 学校の名まえ _____ 小学校
- ② 学年…………… (4、5、6)年 <○でかこむ>
- ③ 男女…………… (1.男 2.女) <○でかこむ>

② あなたのこづかいのもらい方は、つぎのどれと同じですか。

- 1. 1か月分ずつまとめてもらう
- 2. 1週間分ずつまとめてもらう
- 3. 毎日、その日の分をもらう
- 4. ほしい時、家の人によってからもらうので、決まっていない
- 5. もらわない

③ あなたがもらっているこづかいは、1か月分にするとうくらになりますか。(毎日もらう人は30日として、1週間分ずつもらう人は4週間として計算してください)

_____ 円

④ あなたが②で答えたようなもらい方になったのは、いつごろからですか。

- 1. 小学校にあがる前から
- 2. 1年生の時から
- 3. 2年生の時から
- 4. 3年生の時から
- 5. 4年生の時から
- 6. 5年生の時から
- 7. 6年生になってから

⑤ いつも(月ごめ、週ごめ、毎日など)もらっているこづかいを、あなたに手渡してくれるのはだれですか。

- 1. お父さん
- 2. お母さん
- 3. お父さんの時もお母さんの時もある
- 4. おじいさん・おばあさんなど
- 5. もらっていない

⑥ あなたは、今もらっているこづかいで足りていますか。

ぜんぜんたりない 1 ———— 2 ———— 3 ———— 4 ———— 5
すこし足りない ちょうどいい わりとあまっている とてもあまっている

7 あなたは、できることならこづかいを（1か月分にして）どのくらいもらいたいと思っていますか。

円ぐらいほしい

8 つぎのこづかいの日までだいたあるのに、もらったこづかいが、なくなってしまうことがありますか。

たいいてい そうなる	わりと そうなる	たまになる	めったに そうならない
1	2	3	4

9 もしあなたが、もらったこづかいを早く使ってしまって、家の人に「もう少しください」といったら、家の人はどうしますか。

1. 「もうこづかいはあげたから」といって、ぜったいにくれない
2. その理由をきいて、ちゃんとした理由があれば、べつにくれる
3. くれるけど、つぎの月の分をそれだけへらす
4. たのめば、いつでもすぐくれる

10 いつももらっているこづかいとはべつに、家の人におねだりする時、つぎの人にはどのくらいたのみやすいですか。
(ア、イ、ウのどれかがいない人は答えなくていいです)

	とても たのみにくい	わりと たのみにくい	わりと たのみやすい	とても たのみやすい
ア. お父さん	1	2	3	4
イ. お母さん	1	2	3	4
ウ. おじいさんやおばあさん	1	2	3	4

11 つぎの中で、あなたがこづかいでよく買うものはどれですか。

	ぜんぜん 買わない	たまに 買う	時々 買う	わりと 買う	しょっちゅう 買う
ア. おやつやのみ物	1	2	3	4	5
イ. まんがの本	1	2	3	4	5
ウ. 物語の本	1	2	3	4	5
エ. おもちゃやゲーム	1	2	3	4	5
オ. ノートや鉛筆などのぶんぼうぐ	1	2	3	4	5
カ. 自分の着る物	1	2	3	4	5
キ. 映画やゆうえん地などで	1	2	3	4	5
ク. 切手などのしゅみのもの	1	2	3	4	5
ケ. さんこう書やドリル	1	2	3	4	5

● 資料1 調査票見本

12 あなたが、とても金がかかる高いものをほしくなるとします。
それを買うには、どんな方法で買いますか。

- ア. うで時計 → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{こづかいをためたり貯金をおろしたりして} \\ 2. \text{家の人に半分くらい出してもらって} \\ 3. \text{家の人に全部出してもらって} \end{array} \right.$
- イ. カメラ → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{こづかいをためたり貯金をおろしたりして} \\ 2. \text{家の人に半分くらい出してもらって} \\ 3. \text{家の人に全部出してもらって} \end{array} \right.$
- ウ. 電子ゲーム → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{こづかいをためたり貯金をおろしたりして} \\ 2. \text{家の人に半分くらい出してもらって} \\ 3. \text{家の人に全部出してもらって} \end{array} \right.$
- エ. 学習百科事典 → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{こづかいをためたり貯金をおろしたりして} \\ 2. \text{家の人に半分くらい出してもらって} \\ 3. \text{家の人に全部出してもらって} \end{array} \right.$
- オ. 天体望遠鏡 → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{こづかいをためたり貯金をおろしたりして} \\ 2. \text{家の人に半分くらい出してもらって} \\ 3. \text{家の人に全部出してもらって} \end{array} \right.$

13 お友だちとお金のかしかりについておたずねします。

ア. つぎのような時に、友だちに「かして」といわれたらどう思いますか。

㊶ 友だちが学校の帰りにジュースを買ってのみなくなった

かして
あげたくない 1 _____ 友だちがしつこく
たのめばかしてあげる 2 _____ すぐかして
あげる 3

㊷ 友だちがゆうえん地で遊んでいて、お金が足りなくなった

かして
あげたくない 1 _____ 友だちがしつこく
たのめばかしてあげる 2 _____ すぐかして
あげる 3

㊸ 友だちから「あした学校で使うノートを、今買わなければ間に合わない」といわれた時

かして
あげたくない 1 _____ 友だちがしつこく
たのめばかしてあげる 2 _____ すぐかして
あげる 3

イ. お友だちに、いくらぐらいのお金ならかしてあげてもいいと思いますか。

たとえいくらでも
かしてあげたくない 1 _____ 50円ぐらい
ならよい 2 _____ 100円ぐらい
ならよい 3 _____ 500円ぐらい
ならよい 4 _____ 1,000円以上
でもよい 5

ウ. それでは、いくらぐらいのお金なら、友だちにかけてもいいと思いますか。

たとえいくらでも
かき回すのはよくない 1 _____ 50円ぐらい
ならよい 2 _____ 100円ぐらい
ならよい 3 _____ 500円ぐらい
ならよい 4 _____ 1,000円以上
でもよい 5

エ. 友だちにかしたお金を、友だちがなかなか返してくれない時、いくらぐらいなら「だまっけてもいいな」と思いますか。

どんなに少なくても
返してもらおう 1 _____ 10円ぐらい
ならよい 2 _____ 50円ぐらい
ならよい 3 _____ 100円ぐらい
ならよい 4 _____ 300円以上
でもよい 5

14 あなたのお母さんは、つぎのようなことをあなたにどのくらいいいますか。

ア	「こづかいはなるべく残して貯金をした方がいい」	ほとんど いわない 1	時々いう 2	しょっちゅう いう 3
イ	「買った物を見せなさい」	ほとんど いわない 1	時々いう 2	しょっちゅう いう 3
ウ	「食べ物を買ってははいけません」	ほとんど いわない 1	時々いう 2	しょっちゅう いう 3
エ	「つまらないものを買ってははいけません」	ほとんど いわない 1	時々いう 2	しょっちゅう いう 3
オ	「高いものを買う時は、親にことわりなさい」	ほとんど いわない 1	時々いう 2	しょっちゅう いう 3
カ	「こづかい帳をつけなさい」	ほとんど いわない 1	時々いう 2	しょっちゅう いう 3
キ	「人にお金をかりるのははいけません」	ほとんど いわない 1	時々いう 2	しょっちゅう いう 3
ク	「毎日いくらぐらい使えばいいか考えて、計画的に使いなさい」	ほとんど いわない 1	時々いう 2	しょっちゅう いう 3
ケ	「なるべくいい物を選んで買いなさい」	ほとんど いわない 1	時々いう 2	しょっちゅう いう 3
コ	「のこさなくてもいいから、上手に使いなさい」	ほとんど いわない 1	時々いう 2	しょっちゅう いう 3

15 あなたがテストでいい点をとったり、何かいいことをした時、ごほうびとしてお金をもらったことがありますか。

1	2	3	4
1度もない	1度か2度 ある	時々ある	しょっちゅう ある

16 あなたがテストで悪い点をとったり、何か悪いことや失敗をしたりした時、こづかいをへらされたことがありますか。

1	2	3	4
1度もない	1度か2度 ある	時々ある	しょっちゅう ある

17 あなたが家の人からおつかいをたのまれてお金をわたされた時、「なくしたらどうしよう」と心配になる金ぐはいくらぐらいですか。

1	2	3	4	5
500円 ぐらい	1,000円 ぐらい	3,000円 ぐらい	5,000円 ぐらい	10,000円 ぐらい

● 資料1 調査票見本

18 それでは、あなたが、おつかいのごほうびにお金をもらっても、「なんだこれっぽっちか」とがっかりするのはいくらぐらいですか。

5円 10円 30円 50円 100円 300円 500円
 ぐらい ぐらい ぐらい ぐらい ぐらい ぐらい ぐらい
 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____ 6 _____ 7

19 あなたは、今こづかい帳をつけていますか。

つけていない _____ つけたり つけて
 つけなかったり _____ いる
 1 _____ 2 _____ 3

20 こづかい帳をつけている人だけにおたずねします。あなたがおこづかい帳をつけているのはなぜですか。

1. 家の人がつけなさいというさくいうから
2. こづかい帳をつけていると便利だから
3. お金を大切に使いたいから

21 あなたは、いつもきまったこづかいをもらう時、どんな気持ちになりますか。

ア. 「もっと多ければいいな」

ぜんぜん あまり 思ったり わりと いつも
 思わない 思わない 思わなかったり 思う 思う
 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5

イ. 「どうせ買いたい物もないからたいしてうれしくない」

ぜんぜん あまり 思ったり わりと いつも
 思わない 思わない 思わなかったり 思う 思う
 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5

22 こづかいをもらうことになっている日に、家の人がなんとなく忘れているようなことがありますか。

ぜんぜん 時々ある たまにある いつもきちんと
 しょっちゅうある 渡してくれる
 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4

イ. こづかいをもらえることになっている日は、自分からくださいとさいそくしますか。

ぜんぜん あまり したり わりと いつも
 しない しない しなかったり する する
 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5

23 あなたの貯金についておたずねします。

ア. あなたは、今、ゆうびん局や銀行に貯金をしていますか。している人はその金がかくも書いてください。

1. している _____ →いくらぐらいですか 円ぐらい
2. していない _____

イ. あなたは、今、ちょ金ばこにちょ金をしていますか。している人は、その金がかくも書いてください。
 (なかみのわからない人はそうぞうでいいです)

1. している _____ →いくらぐらいですか 円ぐらい
2. していない _____

ウ. あなたは、ゆうびん局や銀行のちょ金をおろして使いますか。

おろしたことは 1度か2度 時々おろす よく
 ない ある おろして使う
 1 _____ 2 _____ 3 _____ 4

ま

エ. あなたがちよ金をおろしたいと思うのは、どんな時ですか。

1. おろしたいと思ったことはない
2. こづかいがなくなった時
3. いつももらっているこづかいではとても買えないような高い物がほしくなった時

200円
らい
-7

オ. あなたがちよ金をするのはなぜですか。

1. お金をもっていても、特に買いたいものがないから
2. ちよ金がふえるのが楽しみだから、自分からすすんで
3. 家の人がいうのでしかたなく

けて
いる
-3

24 さいごに、あなた自身のことについておたずねします。

ア. あなたの家で、仕事をもって働いているのはだれですか。

1. お父さんだけ
2. お母さんだけ
3. お父さんとお母さんの2人とも

イ. あなたの家にはおじいさんやおばあさんがいっしょにすんでいますか。

1. おじいさんだけ
2. おばあさんだけ
3. おじいさんもおばあさんもいっしょに
4. どちらもいない

いつも
思う
-5

ウ. あなたの兄弟をおしえてください。

お兄さん		人
お姉さん		人
弟		人
妹		人

いつも
思う
-5

きちんと
てくれる
-4

エ. あなたの家の仕事は何ですか。

1. お店やさんをしている
2. おつとめ（会社、学校、工場、役所など）をしている
3. それ以外

いつも
する
-5

(これでおわりです、長い間どうもありがとうございました)

よく
して使う
-4

● 資料2 学年・性別集計表

質問項目	全 体	性 別		学 年 別			
		男 子	女 子	4 年	5 年	6 年	
① サンプル数 学年 性	4 年	566	297	269			
	5 年	628	342	286			
	6 年	630	324	306			
	男 子	963					
	女 子	861					
② もらい方 こづかいの	1. 1か月分ずつまとめてもらう	75.0	73.2	77.1	67.8	75.9	80.7
	2. 1週間分ずつまとめてもらう	6.6	7.6	5.5	8.9	7.0	4.1
	3. 毎日、その日の分をもらう	2.4	3.2	1.4	3.5	1.8	1.9
	4. はい時、家の人によってからもらうので、決まっていない	13.3	13.5	13.0	15.2	13.4	11.4
	5. もらわない	2.7	2.5	3.0	4.6	1.9	1.9
③ こづかいの1か月分の金額	1. 0～200円	2.4	1.5	2.7	4.6	1.8	0.5
	2. 201～400円	10.0	8.8	10.9	24.0	6.1	1.4
	3. 401～600円	34.5	31.4	39.4	38.6	41.7	24.1
	4. 601～800円	13.0	14.9	10.9	8.2	12.8	17.4
	5. 801～1,000円	21.9	22.6	23.6	11.8	22.4	33.0
	6. 1,001～1,200円	3.4	4.5	2.0	3.1	3.0	4.0
	7. 1,201～1,400円	0.9	0.9	0.6	0.8	0.4	1.4
	8. 1,401～1,600円	6.4	7.7	5.0	4.0	6.0	9.0
	9. 1,601～1,800円	0.6	0.7	0.2	0.8	0.4	0.5
	10. 1,801～2,000円	2.7	3.2	2.1	2.3	2.7	3.0
	11. 2,001～2,500円	0.9	0.5	0.9	0.4	0.2	1.5
	12. 2,501～3,000円	1.8	2.2	1.1	1.0	1.5	2.5
	13. 3,001～4,000円	0.6	0.6	0.2	0.2	0.3	0.9
	14. 4,001～5,000円	0.4	0.3	0.1	0.0	0.3	0.4
	15. 5,001～6,000円	0.1	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0
	16. 6,001～8,000円	0.2	0.1	0.1	0.0	0.4	0.0
	17. 8,001～12,000円	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2
	18. 12,001～28,000円	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2
④ つからか 今のようない方はい	1. 小学校にあがる前から	9.8	9.7	10.0	10.1	9.9	9.5
	2. 1年生の時から	22.0	21.1	22.9	26.0	19.7	20.5
	3. 2年生の時から	15.3	15.5	15.1	21.0	15.2	10.5
	4. 3年生の時から	22.0	21.2	22.9	27.5	22.3	16.7
	5. 4年生の時から	16.9	18.1	15.6	15.4	19.4	15.8
	6. 5年生の時から	10.2	10.4	10.0	0.0	13.5	16.1
	7. 6年生になってから	3.8	4.0	3.5	0.0	0.0	10.9
⑤ 人渡し こづかいを手	1. お父さん	9.3	10.6	7.9	8.5	9.9	9.4
	2. お母さん	62.6	61.7	63.2	57.1	62.5	67.1
	3. お父さんの時もお母さんの時もある	23.6	23.2	24.2	27.6	24.2	19.6
	4. おじいさん、おばあさんなど	1.9	2.3	1.5	2.5	1.3	2.1
	5. もらっていない	2.6	2.2	3.2	4.3	2.1	1.8
⑥ ているか こづかいでたり	1. ぜんぜんたりない	5.7	8.4	2.6	5.6	5.5	6.0
	2. すこしたりない	26.8	30.2	23.0	22.6	23.9	33.3
	3. ちょうどいい	47.2	44.5	50.1	53.6	46.0	42.7
	4. わりとあまっている	15.3	11.4	19.8	12.6	17.8	15.3
	5. とてもあまっている	5.0	5.5	4.5	5.6	6.8	2.7
⑦ らいたい こづかいを(1か	1. 0～200円	1.7	1.1	2.1	3.6	1.2	0.5
	2. 201～400円	5.1	3.4	6.9	11.5	4.0	1.4
	3. 401～600円	18.4	15.1	22.8	22.7	20.5	8.5
	4. 601～800円	12.0	10.4	13.9	13.3	14.4	9.1
	5. 801～1,000円	27.7	28.7	27.6	25.6	27.7	31.1
	6. 1,001～1,200円	4.5	5.0	3.7	1.9	5.1	5.9
	7. 1,201～1,400円	1.6	1.8	1.2	1.4	1.7	1.5

年	質問項目	全体	性別		学年別				
			男子	女子	4年	5年	6年		
7	どのくらいもらいたいのか こづかいを(1か月)	8. 1,401~1,600円	11.5	13.3	9.9	6.8	10.1	18.6	
		9. 1,601~1,800円	0.7	0.9	0.4	0.2	0.2	1.9	
		10. 1,801~2,000円	8.1	8.8	7.2	5.6	7.2	11.4	
		11. 2,001~2,500円	1.6	2.4	0.5	0.6	1.8	2.2	
		12. 2,501~3,000円	2.5	3.3	1.6	1.8	2.3	3.3	
		13. 3,001~3,500円	0.3	0.4	0.0	0.0	0.2	0.5	
		14. 3,501~4,000円	0.4	0.3	0.5	0.2	0.2	0.8	
		15. 4,001~5,000円	1.4	2.0	0.7	1.5	1.2	1.7	
		16. 5,001~10,000円	1.5	1.9	0.8	2.0	1.2	1.2	
		17. 10,001~30,000円	0.4	0.5	0.1	0.6	0.4	0.2	
		18. 30,001~50,000円	0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
		19. 50,001~99,999円	0.4	0.5	0.1	0.5	0.4	0.2	
		80.7							
		4.1							
		1.9							
		11.4							
		1.9							
		0.5							
		1.4							
24.1									
17.4									
33.0									
4.0									
1.4									
9.0									
0.5									
3.0									
1.5									
2.5									
0.9									
0.4									
0.0									
0.0									
0.2									
0.2									
9.5									
20.5									
10.5									
16.7									
15.8									
16.1									
10.9									
9.4									
67.1									
19.6									
2.1									
1.8									
6.0									
33.3									
42.7									
15.3									
2.7									
0.5									
1.4									
8.5									
9.1									
31.1									
5.9									
1.5									

● 資料2 学年・性別集計表

質問項目	全 体	性 別		学 年 年 別					
		男 子	女 子	4 年	5 年	6 年			
11 こづかいでよく買うもの	オノボトや鉛筆など	1. ぜんぜん買わない	18.9	26.5	10.5	18.3	19.1	19.2	
		2. たまに買う	28.6	30.3	26.8	30.3	28.0	27.9	
		3. 時々買う	24.7	23.0	26.5	28.2	23.8	22.4	
		4. わりと買う	22.1	16.3	28.5	17.9	24.4	23.4	
		5. しょっちゅう買う	5.7	3.9	7.7	5.3	4.7	7.1	
		カ、自分の着る物	1. ぜんぜん買わない	81.8	79.0	85.1	82.3	83.9	79.7
		2. たまに買う	9.8	11.2	8.3	8.2	9.9	11.0	
		3. 時々買う	5.3	5.8	4.7	4.8	5.2	5.8	
		4. わりと買う	2.3	3.1	1.3	3.6	0.8	2.5	
		5. しょっちゅう買う	0.8	0.9	0.6	1.1	0.2	1.0	
		キ、映画やゆうえん地などで	1. ぜんぜん買わない	63.9	56.9	71.6	73.9	63.9	55.1
		2. たまに買う	23.2	25.8	20.4	18.4	22.7	28.1	
		3. 時々買う	8.3	10.4	6.1	5.0	8.7	10.7	
		4. わりと買う	3.8	5.5	1.8	2.3	4.0	4.8	
		5. しょっちゅう買う	0.8	1.4	0.1	0.4	0.7	1.3	
12 金かくの高いものを買う方法	ク、切手などのしゆみのもの	1. ぜんぜん買わない	39.3	32.4	46.7	48.7	37.8	32.3	
		2. たまに買う	21.3	21.1	21.6	23.1	20.4	20.8	
		3. 時々買う	16.3	16.4	16.2	11.5	15.8	20.9	
		4. わりと買う	14.6	17.4	11.6	11.0	15.9	16.5	
		5. しょっちゅう買う	8.5	12.7	3.9	5.7	10.1	9.5	
		ド、さんこう書や	1. ぜんぜん買わない	62.3	62.2	62.2	63.4	63.0	59.1
		2. たまに買う	24.0	23.5	24.7	24.0	23.5	25.9	
		3. 時々買う	8.2	7.8	8.7	7.3	8.1	9.2	
		4. わりと買う	4.2	4.7	3.7	4.0	4.9	3.8	
		5. しょっちゅう買う	1.3	1.8	0.7	1.3	0.5	2.0	
		ア、時計	1. こづかいをためたり、貯金をおろしたりして	37.3	38.4	36.0	39.1	40.2	32.8
		2. 家の人に半分くらい出してもらって	37.4	36.9	38.1	37.7	36.5	38.1	
		3. 家の人に全部出してもらって	25.3	24.7	25.9	23.2	23.3	29.1	
		イ、カメラ	1. こづかいをためたり、貯金をおろしたりして	29.7	33.4	25.7	30.8	31.3	27.2
		2. 家の人に半分くらい出してもらって	46.0	44.1	48.0	45.6	46.4	46.0	
	3. 家の人に全部出してもらって	24.3	22.5	26.3	23.6	22.3	26.8		
	ウ、電子ゲーム	1. こづかいをためたり、貯金をおろしたりして	51.1	52.3	49.9	45.8	54.0	52.9	
	2. 家の人に半分くらい出してもらって	29.9	28.6	31.2	30.3	29.5	29.8		
	3. 家の人に全部出してもらって	19.0	19.1	18.9	23.9	16.5	17.3		
	エ、学習辞典	1. こづかいをためたり、貯金をおろしたりして	11.5	11.9	11.0	14.9	11.7	8.4	
	2. 家の人に半分くらい出してもらって	22.0	19.1	25.1	21.1	27.0	17.8		
	3. 家の人に全部出してもらって	66.5	69.0	63.9	64.0	61.3	73.8		
	オ、天文望遠鏡	1. こづかいをためたり、貯金をおろしたりして	27.9	32.3	22.9	29.6	27.2	27.0	
	2. 家の人に半分くらい出してもらって	44.2	43.2	45.4	40.2	47.9	44.2		
	3. 家の人に全部出してもらって	27.9	24.5	31.7	30.2	24.9	28.8		
13 友だちのお金のかしかり	ア、かしてあげたくない	1. かしてあげたくない	84.4	84.5	84.2	86.9	85.2	81.3	
		2. 友だちがしつこくたのめばかしてあげる	12.4	11.9	13.1	11.1	12.2	13.9	
		3. すぐかしてあげる	3.2	3.6	2.7	2.0	2.6	4.8	
		イ、かしてあげたくない	1. かしてあげたくない	45.2	46.7	43.6	57.6	47.9	31.5
		2. 友だちがしつこくたのめばかしてあげる	27.3	24.2	30.6	21.6	27.5	32.0	
		3. すぐかしてあげる	27.5	29.1	25.8	20.8	24.6	36.5	
		エ、トナリ	1. かしてあげたくない	38.5	42.3	34.3	55.5	37.5	24.2
		2. 友だちがしつこくたのめばかしてあげる	26.8	25.1	28.8	23.7	27.9	28.7	
		3. すぐかしてあげる	34.7	32.6	36.9	20.8	34.6	47.1	
		イ、かしてあげたくない	1. たといくらでもかしてあげたくない	24.2	26.8	21.4	35.4	23.2	15.3
		2. 50円ぐらいならよい	29.2	30.4	27.8	33.0	31.9	23.1	
		3. 100円ぐらいならよい	43.6	38.9	48.8	29.8	42.5	56.8	

期 6年	質問項目	全体	性別		学年別				
			男子	女子	4年	5年	6年		
19.2	13 友だちのお金のかしかり	4. 500円ぐらいならよい	2.7	3.3	2.0	1.4	2.2	4.3	
27.9		5. 1,000円以上でもよい	0.3	0.6	0.0	0.4	0.2	0.5	
22.4		ウ、かりてもいい金額	1. たとえいくらでもかりるのはよくない	42.2	42.5	42.1	51.8	41.9	34.1
23.4			2. 50円ぐらいならいい	28.0	27.2	28.9	28.5	28.5	27.1
7.1			3. 100円ぐらいならいい	27.2	26.5	28.0	17.6	27.2	35.8
79.7			4. 500円ぐらいならいい	1.9	2.7	0.9	1.6	1.4	2.5
11.0			5. 1,000円以上でもよい	0.7	1.1	0.1	0.5	1.0	0.5
5.8		エ、返すようにきてもいい金額	1. どんなに少なくても返してもらう	47.3	47.8	46.6	54.2	46.1	42.5
2.5			2. 10円ぐらいならいい	27.4	26.9	28.1	27.3	29.9	25.1
1.0			3. 50円ぐらいならいい	17.3	16.3	18.4	14.4	16.2	20.8
55.1	4. 100円ぐらいならいい		7.1	7.8	6.3	3.0	6.8	11.0	
28.1	5. 300円以上でもよい		0.9	1.2	0.6	1.1	1.0	0.6	
10.7	14 お母さん	ア、貯金をした方がよい	1. ほとんどいわない	43.1	37.0	50.0	40.3	40.3	48.4
4.8			2. 時々いう	46.0	49.3	42.2	46.8	48.4	42.9
1.3			3. しょっちゅういう	10.9	13.7	7.8	12.9	11.3	8.7
32.3		イ、買ったものを見せたい	1. ほとんどいわない	35.2	32.1	38.5	35.3	31.5	38.7
20.8			2. 時々いう	40.1	38.2	42.3	38.1	43.5	38.5
20.9			3. しょっちゅういう	24.7	29.7	19.2	26.6	25.0	22.8
16.5		ウ、買ったものを返すのを嫌がる	1. ほとんどいわない	58.4	58.7	58.2	59.6	57.8	58.1
9.5			2. 時々いう	28.8	26.8	31.0	30.7	26.7	29.2
59.1			3. しょっちゅういう	12.8	14.5	10.8	9.7	15.5	12.7
25.9		エ、買ったものを返さないと嫌がる	1. ほとんどいわない	16.8	16.2	17.6	21.0	16.3	13.6
9.2			2. 時々いう	45.2	42.2	48.5	44.6	44.9	46.1
3.8			3. しょっちゅういう	38.0	41.6	33.9	34.4	38.8	40.3
2.0		オ、高価なものを買って後悔することはない	1. ほとんどいわない	25.4	22.4	28.8	26.9	24.7	24.8
32.8			2. 時々いう	36.3	33.5	39.5	36.1	40.1	32.7
38.1			3. しょっちゅういう	38.3	44.1	31.7	37.0	35.2	42.5
29.1		カ、こづかいをもらってほしい	1. ほとんどいわない	58.8	60.1	57.3	59.5	59.1	57.9
27.2			2. 時々いう	26.4	25.1	27.9	27.1	24.8	27.4
46.0			3. しょっちゅういう	14.8	14.8	14.8	13.4	16.1	14.7
26.8	キ、お金のかけない	1. ほとんどいわない	26.4	26.4	26.4	25.6	27.3	26.2	
52.9		2. 時々いう	36.3	31.4	41.7	35.8	34.5	38.4	
29.8		3. しょっちゅういう	37.3	42.2	31.9	38.6	38.2	35.4	
17.3	ク、計画的に使う	1. ほとんどいわない	51.5	48.9	54.6	52.8	50.6	51.4	
8.4		2. 時々いう	34.7	34.6	34.7	36.9	34.9	32.4	
17.8		3. しょっちゅういう	13.8	16.5	10.7	10.3	14.5	16.2	
73.8	ケ、いもを買え	1. ほとんどいわない	36.0	34.2	37.9	37.5	36.1	34.4	
27.0		2. 時々いう	44.1	42.6	45.8	42.6	45.0	44.6	
44.2		3. しょっちゅういう	19.9	23.2	16.3	19.9	18.9	21.0	
28.8	コ、上手に使える	1. ほとんどいわない	53.7	52.8	54.7	56.1	52.4	52.8	
81.3		2. 時々いう	32.3	31.3	33.4	31.0	34.1	31.6	
13.9		3. しょっちゅういう	14.0	15.9	11.9	12.9	13.5	15.6	
4.8	15 してお金づかいをへら	ごほうびと	1. 1度もない	47.7	48.6	46.8	48.4	47.8	47.1
31.5			2. 1度か2度ある	25.3	23.0	27.8	25.0	24.2	26.6
32.0			3. 時々ある	22.2	23.2	21.1	22.3	22.7	21.6
36.5			4. しょっちゅうある	4.8	5.2	4.3	4.3	5.3	4.7
24.2	16 つかいをしてこられる	バツとしてこられる	1. 1度もない	87.3	83.4	91.7	87.4	87.2	87.3
28.7			2. 1度か2度ある	7.3	8.9	5.5	7.4	7.7	6.8
47.1			3. 時々ある	4.0	5.8	2.0	3.9	4.0	4.1
15.3			4. しょっちゅうある	1.4	1.9	0.8	1.3	1.1	1.8
23.1									
56.8									

● 資料2 学年・性別集計表

質問項目	全体	性別		学年別				
		男子	女子	4年	5年	6年		
17 「なくしたらどうしよう」と心配になる金額	1. 500円ぐらい	43.8	47.8	39.5	50.3	46.2	35.4	
	2. 1,000円ぐらい	21.5	20.8	22.2	20.0	20.9	23.4	
	3. 3,000円ぐらい	12.6	10.6	14.8	8.9	11.7	16.9	
	4. 5,000円ぐらい	6.4	4.9	8.0	3.3	6.5	9.2	
	5. 10,000円ぐらい	15.7	15.9	15.5	17.5	14.7	15.1	
18 「なんだこれっばっちか」と思うこぼりの金額	1. 5円ぐらい	40.4	39.0	41.8	44.8	43.6	33.1	
	2. 10円ぐらい	17.8	17.5	18.1	16.8	17.8	18.7	
	3. 30円ぐらい	15.4	15.9	14.9	13.0	15.2	17.7	
	4. 50円ぐらい	15.4	14.8	16.2	15.6	13.4	17.4	
	5. 100円ぐらい	8.3	9.5	6.9	7.0	7.5	10.2	
	6. 300円ぐらい	1.6	1.7	1.6	1.8	1.5	1.7	
	7. 500円ぐらい	1.1	1.6	0.5	1.0	1.0	1.2	
19 い帳	1. つけていない	54.7	61.6	47.0	60.6	53.5	50.7	
	2. つけたりつけなかったり	25.9	24.5	27.5	21.4	25.1	30.8	
	3. つけている	19.4	13.9	25.5	18.0	21.4	18.5	
20 理田 帳をつる	1. 家の人がつけなさいとうるさくいうから	22.3	27.3	18.1	18.5	24.9	22.5	
	2. こづかい帳をつけていると便利だから	41.7	41.1	42.2	35.5	41.6	46.6	
	3. お金を大切にしたいから	36.0	31.6	39.7	46.0	33.5	30.9	
21 ままったこづかいをもらう時	ア、もったいない	1. ぜんぜん思わない	34.2	33.1	35.4	43.3	32.9	27.2
		2. あまり思わない	21.9	20.4	23.6	20.8	22.2	22.7
		3. 思ったり思わなかったり	25.9	24.5	27.4	20.4	28.1	28.5
		4. わりと思う	8.8	9.8	7.7	8.0	7.8	10.5
		5. いつも思う	9.2	12.2	5.9	7.5	9.0	11.1
	イ、たいしくない	1. ぜんぜん思わない	56.6	55.5	58.0	63.1	51.8	56.0
		2. あまり思わない	21.4	22.1	20.6	16.8	24.8	22.0
		3. 思ったり思わなかったり	17.3	16.3	18.4	15.1	18.7	17.8
		4. わりと思う	3.2	3.9	2.4	3.0	3.6	2.9
		5. いつも思う	1.5	2.2	0.6	2.0	1.1	1.3
22 れのこづかいは家からさいせ	ア、こづかいは家からさいせ	1. ぜんぜんしよちゆうある	12.9	14.1	11.5	11.7	13.8	12.9
		2. 時々ある	33.5	33.9	33.0	35.4	31.7	33.7
		3. たまにある	30.3	29.3	31.5	27.4	31.3	31.9
		4. いつもきちんと渡してくれる	23.3	22.7	24.0	25.5	23.2	21.5
		5. ぜんぜんしない	23.0	22.8	23.3	25.3	24.5	19.5
	イ、こづかいは自分からさいせ	1. ぜんぜんしない	20.3	17.7	23.1	20.3	21.8	18.7
		2. あまりしない	27.6	24.0	31.7	26.5	26.1	30.2
		3. したりしなかったり	13.8	14.6	12.8	13.6	12.8	14.9
		4. わりとする	15.3	20.9	9.1	14.3	14.8	16.7
		5. いつもする	1.7	1.9	2.8	2.8	2.2	1.7
23 貯金	1. 0~1,000円	2.4	1.9	2.8	2.8	2.2	1.7	
	2. 1,001~2,000円	1.8	2.2	1.3	2.8	1.6	1.1	
	3. 2,001~3,000円	2.0	1.1	2.9	2.6	1.6	1.7	
	4. 3,001~4,000円	1.3	1.1	1.6	0.6	2.4	0.6	
	5. 4,001~5,000円	1.9	1.5	1.9	2.1	2.4	0.9	
	6. 5,001~6,000円	0.6	0.8	0.5	0.4	1.0	0.4	
	7. 6,001~7,000円	0.3	0.1	0.5	0.2	0.0	0.7	
	8. 7,001~8,000円	0.9	0.8	1.0	1.6	0.4	0.7	
	9. 8,001~9,000円	0.6	0.6	0.3	0.2	0.6	0.6	
	10. 9,001~10,000円	6.9	6.2	7.5	9.5	7.7	3.7	
	11. 10,001~11,000円	0.4	0.5	0.5	0.2	0.8	0.2	
	12. 11,001~12,000円	1.1	1.0	1.0	0.9	1.0	1.1	
	13. 12,001~13,000円	0.7	0.7	0.8	1.7	0.2	0.4	
	14. 13,001~14,000円	0.3	0.2	0.3	0.2	0.6	0.0	
	15. 14,001~15,000円	2.6	1.8	3.1	2.6	2.2	2.8	

6年	質問項目	全体	性別		学年別				
			男子	女子	4年	5年	6年		
35.4	ア、ゆうびん局や銀行の貯金	16. 15,001～16,000円	0.7	0.5	1.1	0.2	0.8	1.1	
23.4		17. 16,001～17,000円	0.6	0.8	0.4	0.2	0.8	0.7	
16.9		18. 17,001～18,000円	0.5	0.5	0.6	1.0	0.6	0.0	
9.2		19. 18,001～19,000円	0.3	0.5	0.2	0.4	0.4	0.0	
15.1		20. 19,001～20,000円	6.3	5.7	6.8	7.3	5.7	5.9	
33.1		21. 20,001～25,000円	2.1	3.7	2.5	4.1	4.6	3.5	
18.7		22. 25,001～30,000円	10.3	9.8	10.1	12.5	8.5	10.3	
17.7		23. 30,001～35,000円	2.5	1.3	3.4	1.5	3.0	1.5	
17.4		24. 35,001～40,000円	3.9	3.7	3.8	2.8	4.4	4.1	
10.2		25. 40,001～45,000円	1.1	0.6	1.5	0.6	1.4	1.1	
1.7		26. 45,001～50,000円	8.6	7.4	9.5	5.6	8.9	10.7	
1.2		27. 50,001～55,000円	0.8	0.5	1.1	0.2	1.0	0.9	
50.7		28. 55,001～60,000円	3.6	3.7	3.5	2.8	2.8	5.0	
30.8		29. 60,001～65,000円	0.6	0.5	0.5	0.4	0.6	0.6	
18.5		30. 65,001～70,000円	2.5	1.7	3.2	1.4	2.0	4.0	
22.5		31. 70,001～75,000円	0.6	0.7	0.5	0.2	0.4	1.0	
46.6		32. 75,001～80,000円	3.0	3.5	2.6	3.1	3.0	3.0	
30.9		33. 80,001～85,000円	0.6	0.3	0.7	0.0	0.8	0.7	
27.2		34. 85,001～90,000円	1.5	1.4	1.6	1.4	2.2	0.9	
22.7		35. 90,001～95,000円	0.2	0.1	0.4	0.2	0.2	0.2	
28.5		36. 95,001～99,999円	25.9	32.6	20.0	25.7	23.2	28.2	
10.5		イ、ちよ金の貯金	1. 0～200円	12.5	14.6	10.3	14.4	10.8	13.4
11.1			2. 201～400円	8.6	8.0	9.5	9.0	8.0	8.0
56.0			3. 401～600円	13.8	13.0	15.1	16.0	11.9	13.1
22.0			4. 601～800円	5.2	5.5	4.9	4.6	6.6	4.5
17.8			5. 801～1,000円	10.9	10.9	10.9	10.0	11.0	12.4
2.9			6. 1,001～1,200円	2.9	3.0	2.7	3.9	2.0	3.0
1.3			7. 1,200～1,400円	2.3	1.5	3.0	2.7	2.3	1.7
12.9			8. 1,401～1,600円	5.2	4.3	6.0	4.8	6.0	5.0
33.7			9. 1,601～1,800円	1.8	2.2	1.6	1.9	1.2	1.9
31.9			10. 1,801～2,000円	7.2	6.8	7.5	6.6	6.6	8.3
21.5			11. 2,001～2,500円	4.0	3.0	4.9	3.8	3.5	4.8
19.5			12. 2,501～3,000円	5.9	6.3	5.6	5.7	7.0	4.1
18.7			13. 3,001～3,500円	1.8	1.4	1.9	2.0	1.9	1.2
30.2			14. 3,501～4,000円	2.9	3.2	2.5	2.2	4.4	3.1
14.9			15. 4,001～4,500円	1.5	1.3	1.5	0.6	2.1	1.5
16.7	16. 4,501～5,000円		3.6	4.6	2.6	2.3	5.1	3.2	
1.7	17. 5,001～6,000円		1.4	1.0	1.6	0.9	1.4	1.7	
1.1	18. 6,001～7,000円		1.2	1.8	0.6	1.1	1.1	1.6	
1.7	19. 7,001～8,000円		0.7	1.0	0.5	1.1	0.8	0.2	
0.6	20. 8,001～9,000円		0.4	0.2	0.6	0.9	0.2	0.2	
0.9	21. 9,001～10,000円		2.0	1.4	2.5	2.2	1.3	2.7	
0.4	22. 10,001～15,000円		1.8	1.6	1.9	1.3	2.0	2.0	
0.7	23. 15,001～20,000円		0.9	1.3	0.6	0.7	0.8	1.0	
0.7	24. 20,001～25,000円		0.4	0.3	0.4	0.7	0.2	0.6	
0.6	25. 25,001～30,000円		0.3	0.4	0.3	0.0	0.6	0.4	
3.7	26. 30,001～40,000円		0.2	0.6	0.1	0.2	0.2	0.2	
0.2	27. 40,001～50,000円		0.1	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	
1.1	28. 50,001～99,999円		0.5	0.8	0.2	0.4	0.8	0.2	
0.4	ウ、ちよ金をか おろすか	1. おろしたことはない	72.2	69.2	75.4	74.6	69.7	72.6	
0.0		2. 1度か2度ある	21.2	23.0	19.3	17.9	24.2	21.1	
2.8		3. 時々おろす	5.9	6.9	4.8	7.3	5.3	5.3	
		4. よくおろして使う	0.7	0.9	0.5	0.2	0.8	1.0	

● 資料2 学年・性別集計表

質問項目	全体	性別		学年別				
		男子	女子	4年	5年	6年		
23 貯金	1. おろしたいと思ったことはない	43.1	34.7	52.2	46.3	43.4	40.0	
	2. こづかいがなくなった時	10.7	10.1	11.3	12.9	12.0	7.4	
	3. 高い物がほしくなった時	46.2	55.2	36.5	40.8	44.6	52.6	
	1. 特に買いたいものがない	24.4	21.5	27.5	22.4	25.6	24.9	
	2. ちょ金がふえるのが楽しみ	61.4	60.7	62.2	61.8	62.4	60.0	
	3. 家の人がいるのでしかたなく	14.2	17.8	10.3	15.8	12.0	15.1	
24 あな た 自 身 の こ と	ア、仕事をもっている人	1. お父さんだけ	47.2	46.9	47.5	46.8	46.5	48.2
		2. お母さんだけ	4.1	4.5	3.5	5.2	3.6	3.6
		3. お父さんとお母さんの2人とも	48.7	48.6	49.0	48.0	49.9	48.2
	イ、祖父父母との同居	1. おじいさんだけ	1.3	1.4	1.3	1.8	1.3	1.0
		2. おばあさんだけ	7.4	7.8	7.0	6.4	7.7	8.0
		3. おじいさんもおばあさんもいっしょに	4.0	4.5	3.4	4.6	3.2	4.3
		4. どちらもいない	87.3	86.3	88.3	87.2	87.8	86.7
	ウ、兄弟	1. 1人	87.7	89.5	85.9	88.6	85.7	88.8
		2. 2人	10.6	8.3	13.0	9.7	12.6	9.6
		3. 3人	1.5	1.8	1.1	1.1	1.7	1.6
		4. 4人	0.2	0.4	0.0	0.6	0.0	0.0
	エ、姉妹	1. 1人	90.5	91.2	89.9	90.5	88.7	92.7
	2. 2人	8.7	8.2	9.3	8.9	10.8	6.1	
	3. 3人	0.4	0.3	0.4	0.6	0.0	0.6	
	4. 4人	0.2	0.0	0.4	0.0	0.5	0.0	
	5. 7人	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.6	
オ、兄弟	1. 1人	89.3	88.3	90.2	92.4	87.4	88.5	
	2. 2人	9.8	10.6	9.0	5.8	12.6	10.5	
	3. 3人	0.5	0.7	0.4	1.8	0.0	0.0	
	4. 6人	0.2	0.0	0.4	0.0	0.0	0.5	
	5. 7人	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.5	
カ、姉妹	1. 1人	92.7	94.0	91.3	93.6	90.0	94.4	
	2. 2人	6.7	5.6	7.9	5.0	9.4	5.6	
	3. 3人	0.6	0.4	0.8	1.4	0.6	0.0	
キ、家の仕事	1. お店やさん	7.1	8.5	5.7	5.9	7.0	8.4	
	2. おつとめ	81.5	80.4	82.6	81.5	82.8	80.2	
	3. それ以外	11.4	11.1	11.7	12.6	10.2	11.4	

住所氏名申込内容